

平成19・20・21年度 群馬県教育委員会指定 授業改善拠点校

研究紀要

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～



〈平成22年3月〉

沼田市立升形小学校

<http://www.n-masugata-es.gsn.ed.jp/>

目次

はじめに	沼田市立升形小学校長	馬場 静子	
I 研究主題	-----		1
II 研究主題設定の理由	-----		1
III 研究のねらい	-----		1
IV 研究内容、方法	-----		2
1 本校が育成したい「考える力」	-----		2
2 「問題解決的な学習過程における手立ての工夫」	-----		2
3 授業改善に向けての取組	-----		4
(1) 升形小学校授業改善のサイクル	-----		4
(2) 授業リフレクションの進め方	-----		5
V 研究全体構想図	-----		6
VI 研究組織	-----		7
VII 研究の経過	-----		7
VIII 指定教科等の研究	-----		9
〈算数科〉 研究の概要	-----		9
研究構想図	-----		10
授業研究の実際（研究授業、授業リフレクション）	-----		11
成果と課題	-----		19
〈生活科〉 研究の概要	-----		22
研究構想図	-----		23
授業研究の実際（研究授業、授業リフレクション）	-----		24
成果と課題	-----		29
資料（単元と内容のマトリックス、生活科プラン）	-----		30
〈総合的な学習の時間〉			
研究の概要	-----		33
研究構想図	-----		34
授業研究の実際（研究授業、授業リフレクション）	-----		35
成果と課題	-----		40
資料（全体計画、年間指導計画、単元指導計画）	-----		41
IX 研究のまとめ	-----		64
研究の成果	-----		65
今後の課題	-----		66
おわりに	研究主任	内藤 麗子	66
主な参考文献	-----		67
研究に携わった教職員	-----		68

はじめに

本校は、平成19年度より3年間、群馬県教育委員会から「授業改善拠点校」の指定を受け、研究主題を「『考える力』を育てる授業の改善」、副主題を「問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して」と設定し、算数科、生活科、総合的な学習の時間における授業改善に取り組みました。

去る平成21年11月10日（火）、3年間の研究発表として公開授業研究会を開催いたしました。新型インフルエンザの大流行により、その影響が心配されましたが、小春日和の良き日に県内各地からご参加いただいた多くの方々を元気いっぱいの子どもたちと全職員が揃ってお迎えできましたことは、本校にとっては何より嬉しいことでした。

さて、本校が公開授業研究会を開催するにあたり、こだわりをもって計画したことが二つあります。一つは、全体会を行わず、その時間を授業研究会に充て十分な協議時間を確保すること。もう一つは、本校が研究の過程で継続して取り入れてきた授業リフレクションを研究会においても実施することでした。

授業リフレクションは、「授業の視点」に即して、子どもの姿や教師の支援等の小さな事実を見過すことなく授業を振り返り、授業者の気づきを広く促すなど、明日の授業を創り上げる研究の場として機能してきました。

但し、リフレクションは少人数を基本とします。研究会において実施するには、プロンプターの確保や場所等の制限があり、全ての参加者がリフレクションに加われないことが問題点でした。しかし、3年間の研究の集大成である研究授業だからこそ、授業リフレクションを行い、「授業の視点」に即した忌憚のない意見をたくさんいただき、今後の研究に生かしていきたい…本校の授業改善へのこだわりでした。

検討を重ねた結果、参加希望（協議メンバー）を募っての授業リフレクションを実施することとなり、協議メンバーには、事前に指導案をお送りして「授業の視点」等についての考えをもってご参加いただきました。

研究会当日の授業リフレクションは、各部会において「授業の視点」にそった活発な協議がなされ、研究会終了後、感想ボードには、次のような付箋が残されていました。

「リフレクション形式の協議は、はじめてだったので興味深く参加させていただきました。冷静になって授業を振り返ることができました。」

「課題把握～練り合い…。活発な意見交換が行われ勉強になるリフレクションでした。改めて、子どもの思考の流れを大切にしたい授業の重要性や課題提示の仕方など大変勉強になり、明日から自分の授業を変えていきたいと強く思いました。」

私たちは、こうしたご意見を励みに指定研究の最後の仕事として本紀要の作成に取り組みました。公開授業研究会の研究授業を中心に、部会毎に授業改善のポイントなど改善への道筋がわかるようなまとめ方にこだわりました。

この3年間、「教師としての指導力を磨き、子どもたち一人一人の考える力を向上させたい。」という共通した目的と意識をもって、教師一人一人が学び合いながら、一つ一つの授業を創り上げてきました。その成果は、子どもたちの学びの姿に、そして、授業づくりに真摯に取り組む教師の姿となって表れています。

「教師の生命は授業実践」という言葉が示すように、日々、授業改善に向けて歩み続ける本校の教師集団、校長として誇りに思う毎日が続いております。

最後になりましたが、研究推進にあたり授業構想の段階から懇切丁寧なご指導いただきました群馬県教育委員会、利根教育事務所、沼田市教育委員会の先生方、また、本紀要をお読みいただきます皆様から心から感謝とお礼を申し上げます。

平成22年 3月 1日 沼田市立升形小学校長 馬場 静子

I 研究主題

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

II 研究主題設定の理由

1 本校児童の実態から

本校では、次のような学校教育目標を掲げ教育実践を行っている。

〈基本目標〉	夢をもち、自ら学び心豊かにたくましく生きる児童の育成
〈具体目標〉	進んで学ぶ子 思いやりのある子 ねばり強い子

また、校内研修においては、算数科における基礎・基本の定着を図る指導法の工夫を中心に取り組んできたが、本校の児童の学習面の実態としては以下のような点が挙げられた。

〈伸ばしたいよさ〉

- ・学習態度が真面目で、課題解決に向けて根気よく取り組むことができる。
- ・体験的な活動への興味・関心が高い。
- ・自分の考えをもつことができる。
- ・友達の考えをよく聞き、その内容をしっかりとらえようとするすることができる。

〈改善を図りたい点〉

- ・自ら課題をとらえ、見通しを立て、よりよく課題を解決しようとする。
- ・自分の考えを筋道立てて簡潔明瞭に表現すること。
- ・互いの意見を交流させながら、自分の考えを深めたり広げたりすること。

本校の学校教育目標の具現化に向け、以上のような本校児童のよさをさらに伸ばし、課題を改善していくためには、「考える力」の育成を目指した授業改善を行うことで、自ら考える態度や、よりよく課題を解決していく資質をはぐくむことが重要であると考えた。

2 教育の今日的課題から

改正学校教育法には、学力の重要な要素の一つとして、「知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等」が明文化されている。また、新学習指導要領では、21世紀が「知識基盤社会」（＝質の高い知識をもち、使いこなせることが求められる社会）になることを踏まえ、子どもたちに「生きる力」をはぐくむことが基本理念として継承され、「生きる力」の一つである「自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく課題を解決する資質や能力」は、ますます重視されることになった。

群馬県においても、『『確かな学力』向上計画』における課題の一つとして、思考力・判断力・表現力等の育成が挙げられている。そして、この課題を解決するために、授業において探究的な活動や考える活動の充実を図ることの必要性が示されている。

以上のことから、問題解決的な学習を充実させ、「考える力」を育てる授業の改善を図ることとは、教育の今日的課題の解決に向けて、非常に有意義なことであると考えられる。

III 研究のねらい

算数科・生活科・総合的な学習の時間を中心として、問題解決的な学習を取り入れた授業改善を行うことにより、「考える力」を身に付けた児童を育成する。

IV 研究内容・方法

1 本校が育成したい「考える力」とは

本校が育成したい「考える力」は、以下の通りである。

既存の知識や技能を活用しながら、よりよく問題を解決する能力

そして、このような力を身に付けた児童像を、次のようにとらえている。

- ・課題の解決に向けて見通しを立て、筋道の通った考え方や行動をする子
- ・これまでの知識や技能を基に、自分の考えをつくりあげる子
- ・他者とかわり合いながら、考えを深めたり広げたりする子

2 「問題解決的な学習過程における手立ての工夫」とは

「考える力」は、課題解決に向けて見通しを立て、自分の考えをつくりあげたり、互いの考えをかかわらせたりする学習を繰り返す中で培われていく。そして、このような学習を推進するためには、問題解決的な学習過程を設定することが有効である。また、各過程において、児童の思考を活性化させたり深化させたりするような手立ての工夫・改善を図ることで、本校が目指す「考える力」を育成できるものとする。

本校が実践している問題解決的な学習過程の基本形を、〈児童の意識〉、〈研究主題にかかわる手立て〉とともに、以下に示す。

課題をとらえ、解決への見通しを立てる

〈児童の意識〉



〈研究主題にかかわる手立て〉

- ・児童の興味や関心を引き付ける教材選び
- ・課題につながる体験活動
- ・解決への意欲を喚起するような課題提示の工夫



- ・既習事項やこれまでの体験の振り返り
- ・児童の実態に応じた見通しのもたせ方

自分の考えをもつ

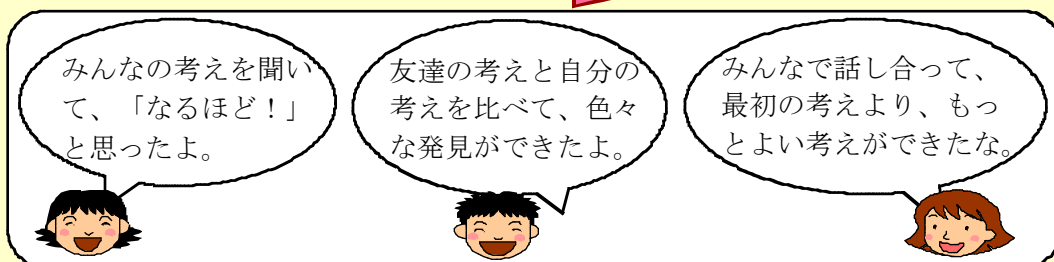


- ・予想される児童の姿、及び必要な手立ての設定
- ・個の学習状況に応じた支援
- ・児童の考えを引き出すための支援
- ・自分の考えを分かりやすく表現させるための支援

互いの考えを交流させ、考えを深めたり高めたりする



- ・話し合いの視点の明確化
- ・各自の解決方法や、その背景にある考えを共有させるための発問
- ・児童の考えを「つなぐ」ことを意識した対応
- ・考えを深めさせていくための「なぜ？」という問いかけ



振り返る



- ・ねらいに沿って学習活動を振り返らせるための発問
- ・活動や取組への共感や賞賛、及び次の活動への意欲付け

問題解決的な学習は、各過程が密接に関連し合っており、上記のような学習の「一連の流れ」こそが意義をもっている。したがって、各過程が全体にかかわる働きを担っていることを踏まえて授業を構想することが肝要である。そして、それぞれの過程でどんな考える活動をさせるか、そのためにはどんな手立てが必要であるかを明確にしながら授業を構想することで、各過程が有機的に関連し合い、研究主題の達成につながっていくと考える。

また、上記の基本形を踏まえ、各教科及び総合的な学習の時間においては以下のような過程を設定した。

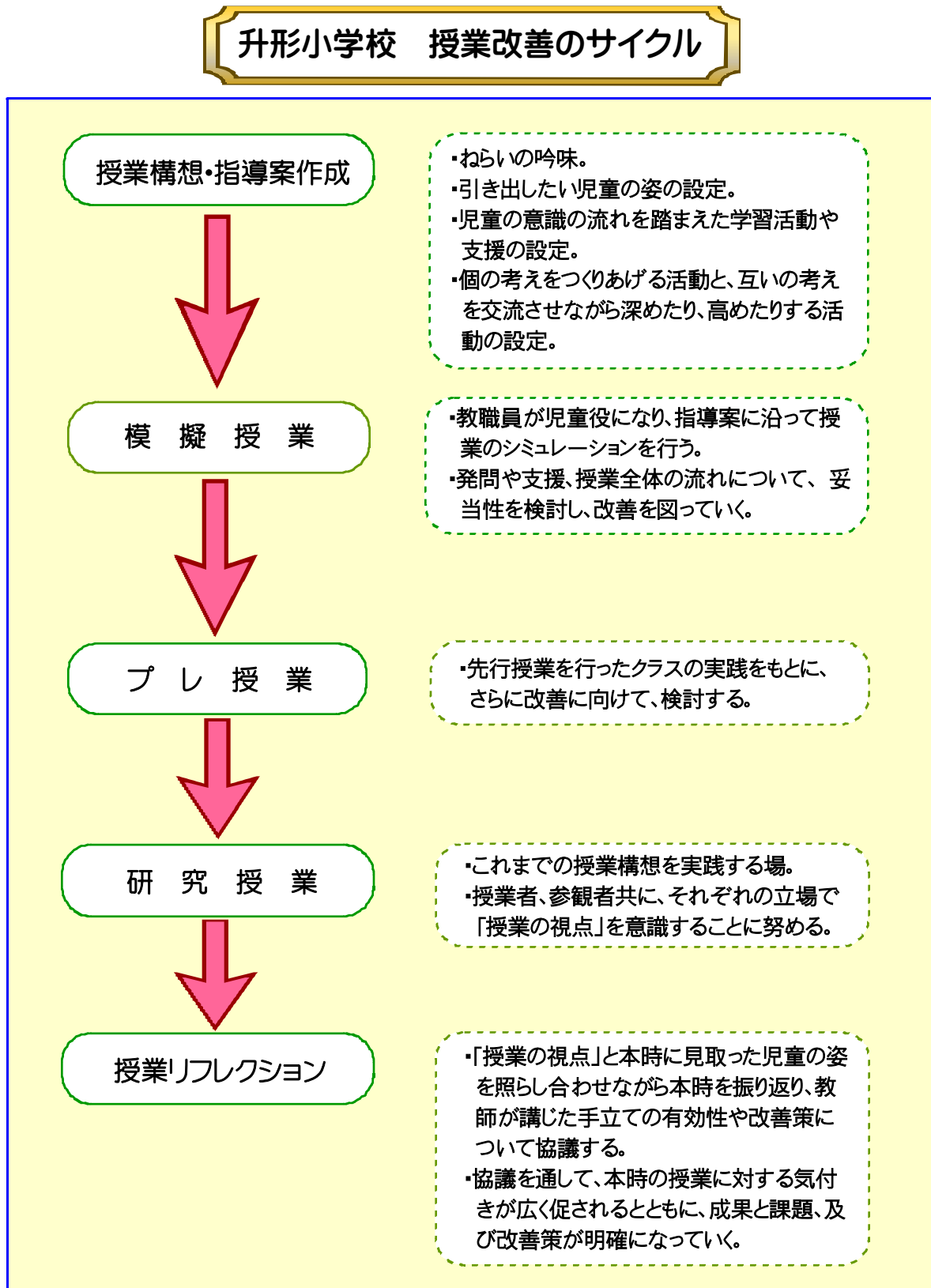
- | | |
|------------|-----------------------------------|
| ・生活科 | 「であう」→「はたらきかける」→「ふりかえる」 |
| ・算数科 | 「課題把握」→「自力解決」→「練り合い」→「まとめ」 |
| ・総合的な学習の時間 | 「ふれる・つかむ」→「追究する」→「まとめる」→「生かす・広げる」 |

各過程の学習活動、教師の支援・手立て等については、各教科のページに掲載されている「研究構想図」、及び「授業研究の実際」を参照されたい。

3 授業改善に向けての取組

(1) 升形小学校授業改善のサイクル

本校では、以下に示す通り、授業の前後も含めた取組の全てを授業改善ととらえている。



上記のサイクルに則り、共同研究体制で授業改善に向けて取り組み、学校全体としてのステップアップを目指してきた。

(2) 授業リフレクションの進め方

本校では、授業を振り返り、授業改善への方策を見出すための有効な手立てとして、授業リフレクションを行っている。そして、授業者の気づきを広く促しながら授業の成果と課題を明確化したり、改善に向けての方策を具体化したりすることを目的とし、グループによる集団リフレクション方式を取り入れている。進め方については、以下の通りである。

<授業リフレクション開始前>

- ・ 参観者は、授業者が設定した「授業の視点」と「児童の姿」を照らし合わせながら授業を観察する。そして、有効だと判断したことを青色の付箋に、改善が必要だと判断したことをピンク色の付箋に記入する。付箋への記入は、1項目1枚とする。
- ・ 参観者は、記入した付箋を「本時の展開（指導案）拡大版」に貼り付けておく。

<授業リフレクション開始>

○授業者から

- ・ 本時の授業、授業を終えて思うこと、参観者から意見をもらいたいことなどについて述べる。



「プロンプター」=リフレクションの進行担当者

○協議テーマの設定

- ・ プロンプターの主導で、以下の視点から協議テーマを絞り込む。(2～3項目程度)

視点1→ピンク色の付箋が集中しているところ

視点2→「授業の視点」との関連が深いところ

視点3→授業者から参観者に意見をもらいたいという要望があったところ

- ・ 設定した協議テーマを黄色い付箋に書き、本時の展開拡大版に貼り付ける。
- ・ テーマをどのような順で協議していくかについても、共通理解を図る。



○テーマに沿って協議する

- ・ 参観者は、自分が付箋に記入した内容に関して、「なぜそのように判断したか(根拠)」を、本時の児童の姿と照らし合わせながら説明する。
- ・ 授業者と参観者の意見交換を通して、改善策を見出していく。
- ・ 改善策をオレンジ色の付箋に記入し、本時の展開拡大版に貼り付ける。



○協議内容の報告

- ・ 各グループの記録者が協議内容を報告し、全体で共通理解を図る。



○授業者から

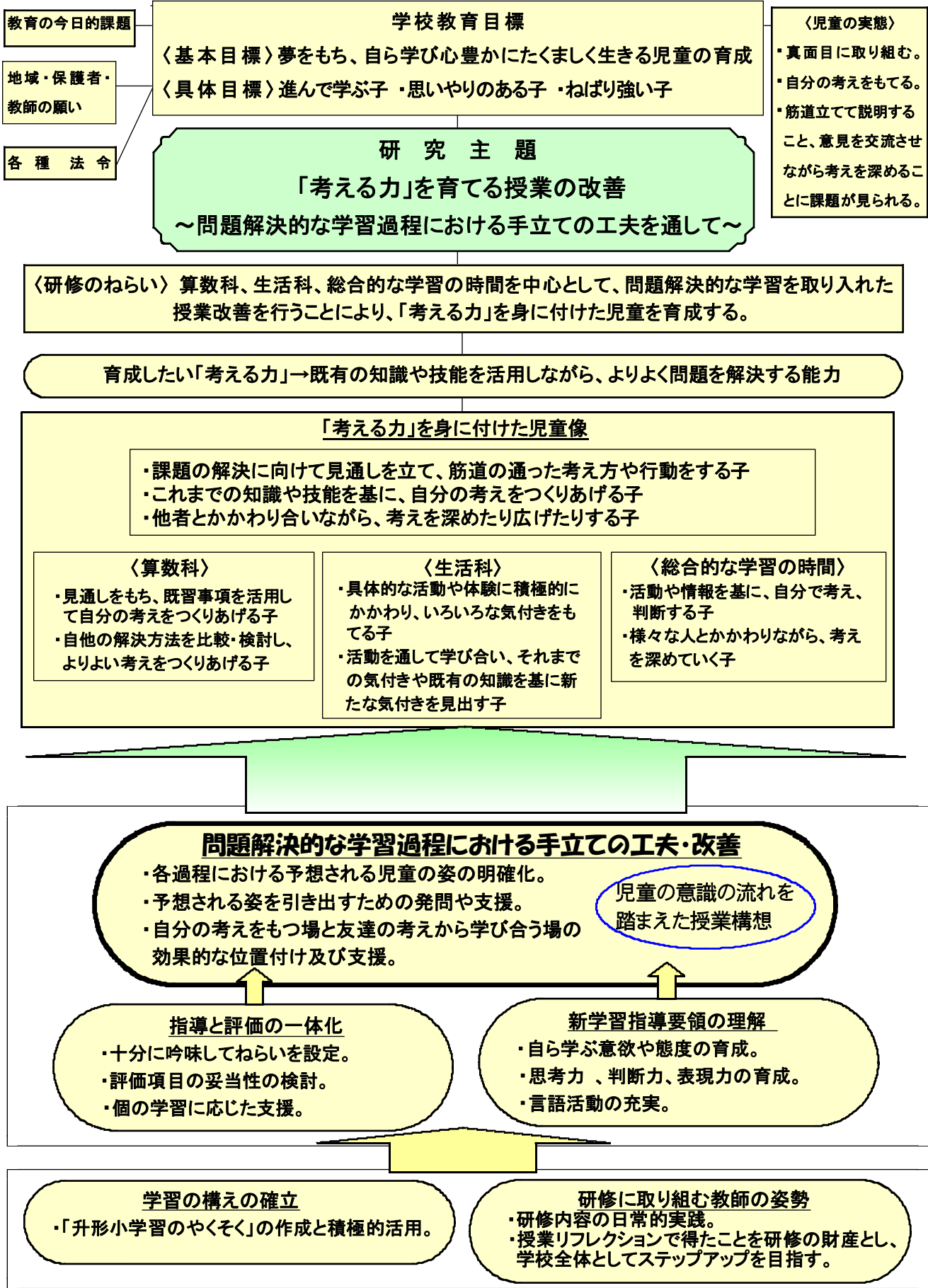
- ・ グループ協議を終えて思うこと、これからの授業づくりに関する抱負などについて述べる。



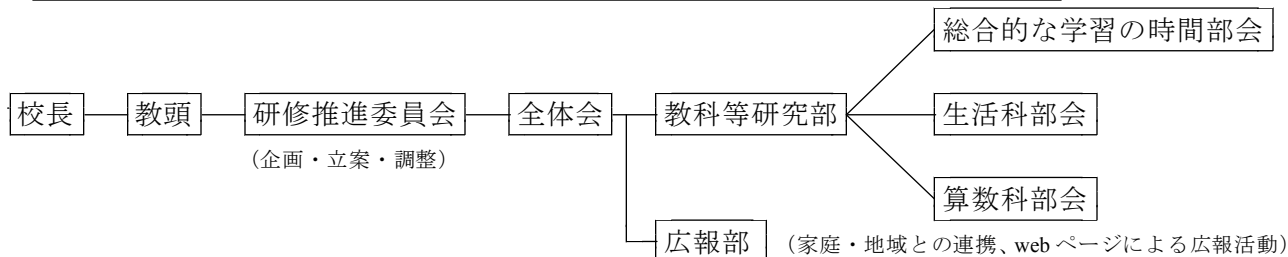
○指導講評

- ・ さらなる授業改善に向けて進むべき方向を確認する。

V 研究全体構想図



VI 研究組織



VII 研究の経過

	1 学期	2 学期	3 学期
1 9 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善拠点校の概要についての共通理解 ○研究主題の設定 ○目指す児童像の設定 ○指導主事訪問A <ul style="list-style-type: none"> ・一般授業（全員） ○指定校授業公開① <ul style="list-style-type: none"> ・一般授業（全員） ・各教科部会 ○研究全体構想図の作成 ○「考える力」の明確化 ○「考える力」を育成するための手立ての検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○目指す児童像、研究の手立ての見直し ○理論研究 ○指定校授業公開②に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○指定校授業公開② <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 2 年 ・算数科 5 年 ○公開授業研究会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎市立柏崎小学校 ・太田市立宝泉小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定校授業公開③に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○プレ授業 ○指定校授業公開③ <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 1 年 ・算数科 4 年 ・総合的な学習の時間 3 年 ○公開授業研究会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市立大岡小学校 ・高崎市立北部小学校 ○成果と課題のまとめ ○次年度の方向付け
2 0 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○授業改善拠点校の概要についての共通理解 ○新学習指導要領の理念、改訂のポイントの確認 ○指導主事訪問A <ul style="list-style-type: none"> ・一般授業（全員） ○指定校授業公開④に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○プレ授業 ○指定校授業公開④ <ul style="list-style-type: none"> ・算数科 4 年 ・総合的な学習の時間 6 年 ○公開授業研究会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・上越教育大学附属小学校 ・筑波大学附属小学校 ～夏季休業中～ ○視察研修（全員参加） <ul style="list-style-type: none"> ・藤岡市立美土里小学校 ・下仁田町立下仁田小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○文献研究 ○指定教科等研究構想図作成 ○指定校授業公開⑤に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○模擬授業、プレ授業 ○指定校授業公開⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 1 年 ・算数科 5 年 ・総合的な学習の時間 3 年 ○公開授業研究会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・上越市立大町小学校 ・八千代市立大和田南小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定校授業公開⑥に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○模擬授業、プレ授業 ○指定校授業公開⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 2 年 ・算数科 4 年 ○成果と課題のまとめ ○次年度の方向付け ○研究全体構想図見直し
2 1 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ○指導主事訪問A <ul style="list-style-type: none"> ・一般授業（全員） ○指定校授業公開⑦に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○模擬授業、プレ授業 ○指定校授業公開⑦ <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 1 年 ・算数科 6 年 ・総合的な学習の時間 3 年 ○公開授業研究会参加 <ul style="list-style-type: none"> ・群馬大学附属小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定校授業公開⑧に向けての授業づくり ○指導主事来校指導 ○研究のまとめの資料および校内掲示物作成 ○模擬授業、プレ授業 ○指定校授業公開⑧ <ul style="list-style-type: none"> ・生活科 2 年 ・算数科 4 年 ・総合的な学習の時間 5 年 	<ul style="list-style-type: none"> ○3 年間の研究の総括 <ul style="list-style-type: none"> ・研究資料の整理 ・研究紀要作成 ・成果と課題のまとめ ○次年度の研究テーマに関する方向付け

升形小学校 研究風景



研究全体会



模擬授業



授業リフレクション



VIII 指定教科等の研究

算数科の研究

算数科部会が目指す「考える力」

見通しをもち、筋道を立てて考える力

「考える力」を身に付けた児童像

見通しをもち、既習事項を活用して自分の考えをつくりあげる子
自他の解決方法を比較・検討し、よりよい考えをつくりあげる子



「考える力」を育成するための授業づくりのポイント

①本時のねらいの吟味

学習内容や児童の実態をもとに、本時のねらいを吟味し、児童に「何を、どのように、どこまで」身に付けさせるのかを明らかにする。そして、本時のねらいを達成した児童の姿や、授業の最後に児童に期待するつぶやきを定めていく。ねらいの吟味を授業づくりの起点とすることにより、本時のゴールが明確化かつ具体化される。また、ねらいに即した算数的活動を設定することができ、ぶれなく授業を組み立てることができる。

②児童の意識の流れを踏まえた授業構想

学習を進める中での児童の意識を想定し、その流れを踏まえて授業を構想する。児童が何を疑問に思い、どんなことに気付き、何をつぶやきながら課題を解決していくかを具体的に想定することにより、本時のねらいを達成するために必要な支援や手立てが明確になる。そして、児童が思考を連続させながら課題を解決していくような授業を展開することができる。

③問題解決的な学習過程における手立ての工夫

「見通しをもち、筋道を立てて考える力」は、課題を発見し、根拠を明らかにしながら解決する活動を通して培われていくものである。そこで、問題解決的な学習を設定し、各過程で児童の思考を活性化させたり深化させたりするための手立てを講じ、考える活動の充実を図っていく。1単位時間ごとの学習過程は、「課題把握→自力解決→練り合い→まとめ」とする。また、問題解決的な学習は、一連の流れで展開されることを踏まえ、それぞれの過程の有機的関連に留意しながら授業を組み立てていく。

〈本校の研究主題〉

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

〈本校算数科が目指す「考える力」〉

- 見通しをもち、筋道を立てて考える力

〈「考える力」を身に付けた児童像〉

- 見通しをもち、既習事項を活用して自分の考えをつくりあげる子
- 自他の解決方法を比較・検討し、よりよい考えをつくりあげる子

まとめ

- ・問題解決に用いた数学的な考えのよさを自分の言葉でまとめる。

練り合い

- ・自分の考えを簡潔・明確に説明する。
- ・自他の解決方法を比較・検討する。

自力解決

- ・既習事項や仮定に基づいて考える。
- ・自分の考えを簡潔・明確に表現する。

課題把握

- ・事象から数学的な問題を見つける。
- ・解決への見通しをもつ。

算数の問題解決的な学習過程

児童の意識の流れを踏まえた授業構想 ねらいが明確な算数的活動

- ◎本時のねらいと児童が記述、発言する内容に整合性をもたせる工夫

- ◎解決方法の交流を通して、課題に対する考えを深めさせるための手立ての工夫
 - ・練り合いの視点の明確化
 - ・それぞれの解決方法へのかかわりを深めさせるための発問（他者説明、展開を予想、比較）
 - ・自分の考えを、根拠を明確にしながら分かりやすく説明する算数的活動の充実
 - ・より洗練されている考えの検討
→はかせ（はっきり・簡単・正確）

- ◎自分の考えを明確にもたせるための手立ての工夫
 - ・考えたり表現したりする算数的活動の充実
 - ・児童の表現力を高めるためのワークシート
 - ・思考を活性化させる教具

- ◎課題解決への意欲を喚起させるような課題の設定、及びその提示方法の工夫
 - ・前時との共通点や相違点の確認
 - ・児童の実態に応じた見通しのもたせ方

授業の改善・工夫の手立て

授業研究の実際

(1) 研究授業

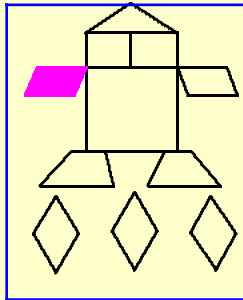
第4学年 単元名：「いろいろな四角形」

マスターコース（＝少人数指導の基礎コース）の授業

本時のねらい：平行四辺形の定義や性質を用いて作図方法を考えることができる。

<課題把握>

今日は、ロケットの羽根の部分の四角形をかくだね。

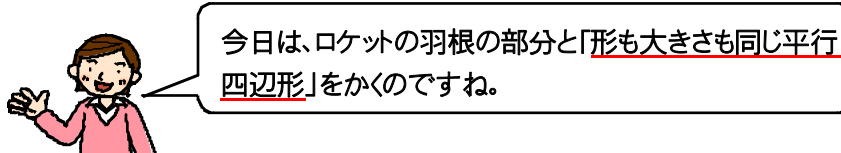
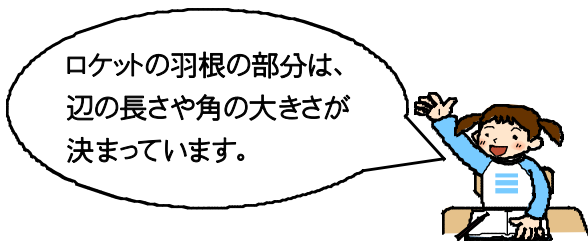


手立て①：このロケットの図を完成させていくことを単元全体にかかわる課題とした。単元全体にかかわる課題を設定することにより、児童は学習への見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができる。

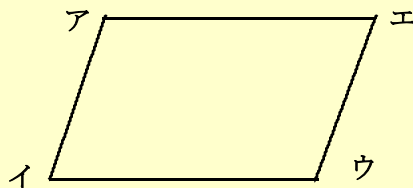
この前の授業でも平行四辺形をかきましたね。
今日は、その学習とどんなところが違うでしょうか。



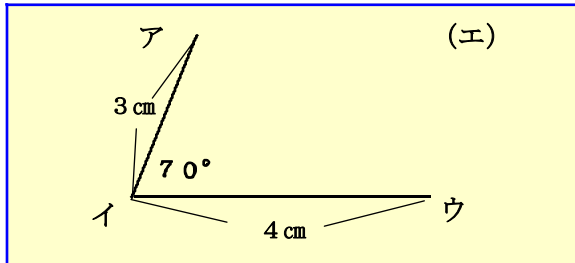
手立て②：前時の学習と比較させることを通して、本時は辺の長さや角度が決まっている平行四辺形をかく必要があることに気付かせ、課題の設定につなげていくようにした。



課題：形も大きさも同じ平行四辺形をかく方法を考え、説明しよう。



手立て③：児童の実態から、作図の方法を以下の部分までは全体で考えるようにし、一人一人が見通しをもてるようにした。また、作図する辺の長さや位置に見当をつけさせた。



この続きをかいて平行四辺形を完成させます。これからかく辺の位置や長さに見当をつけましょう。



辺は、あと2本かけばいいのね。

辺の位置や長さの見当がついたよ。



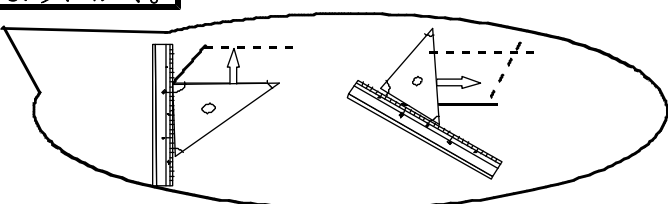
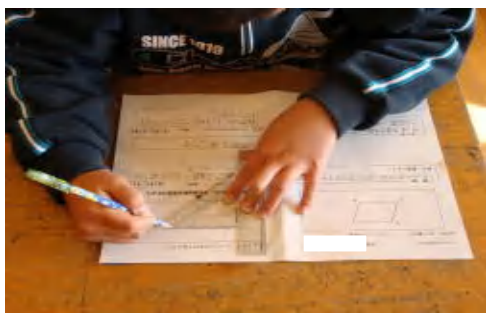
〈自力解決〉

形も大きさも同じ平行四辺形のかき方を考え、ワークシートに図の続きをかきましょう。また、どのような方法でかいたか説明を書きましょう。

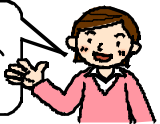


手立て④：算数的活動を通して、児童一人一人が自分なりの解決方法を考えられるように、**学習状況に応じた支援**を行った。

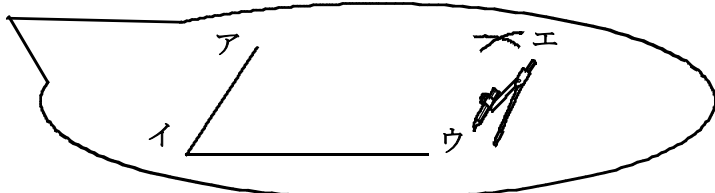
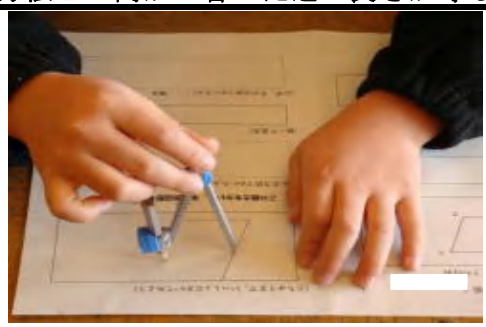
☆方法1→向かい合った辺が平行になるようにかく。



三角定規と定規がずれないように、しっかり押さえてかこうね。



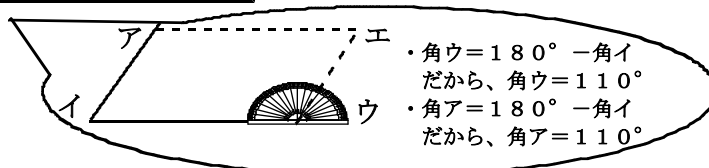
☆方法2→向かい合った辺の長さが等しくなるようにかく。



コンパスで長さを正確にとるようにしようね。



☆方法3→隣り合った角の和が180度になるようにかく。



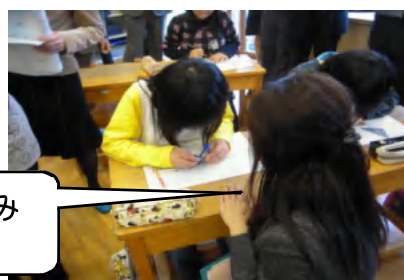
分度器の中心を頂点にしっかり合わせてかこうね。



手立て⑤：それぞれの方法で作図ができた児童には、その方法でかいた根拠を考えるように声をかけをし、個の考えを深めるようにした。



なぜ、この方法でかいてみようと思ったのかな。



理由も考えてみよう。

手立て⑥：作図に戸惑っている児童がいた場合を想定し、つまずきに応じた支援を以下のように準備しておいた。



〈予想されるつまずき〉

辺アエ、辺ウエを定規だけでかこうとしているんだけど、うまくかけないな。

辺ウエを3cmにかきたいんだけど、角度が分からないな。

どこからどのようにかいたらいいのかわからないな。



〈つまずきに応じた支援〉

・かきたい長さの辺をかく時には、定規以外の道具も使えるんじゃないかな。三角形を作図した時の学習を思い出してみよう。(←コンパスが活用できることに気付かせる。)

・角ウの大きさが分かればいいんだね。角イは70度だから、角ウは何度かな。平行四辺形のきまりを思い出してみよう。(←隣り合った角の大きさの和が180度であることを活用させる。)

・辺アエ、辺エウの位置は、どのあたりかな。長さは、どれ位かな。(←見通しを立てた活動に立ち返らせる。)
 ・辺アエと等しい長さの辺はあるかな。
 ・平行四辺形はどんな四角形だったかな。(←平行四辺形の定義、性質を想起させる。)

＜練り合い＞

それぞれの作図方法を発表し合い、形も大きさも同じ平行四辺形のかき方についてみんなで考えましょう。



手立て⑦：児童が互いの解決方法にかかわり合い、自他の解決方法を比較・検討しながら考えを深めたり、よりよい考えをつくりあげたりすることができるように、発表や練り合いで以下のような支援を行った。

○発表する児童に対して

順序立てて説明してみよう。

どうしてそのように考えたのか、理由も説明してみよう。

聞いている人を見ながら説明してみよう。

大切なことにポイントをしぼり、すっきり説明してみよう。

「よく分からない。」と思ったことや、「ここまでなら分かったよ。」ということなども、みんなに聞かせて下さい。



○発表を聞く児童に対して

説明の内容を正確にとらえさせる。

〇〇くんが説明したことを、もう1度言えるかな？

〇〇くんが説明したことは、図の中のどの部分のことかな。

説明の展開を予想させる。

〇〇さんの説明の続きを予想してみよう。

根拠を考えさせる。

〇〇くんは、どうして……と言ったのか考えてみよう。



☆本時の練り合いは、次頁のように進めていった。

上記の手立てを投入するとともに、練り合いの視点を明確にすることに留意した。

練り合い①→向かい合った2組の辺が平行になるようにかく。



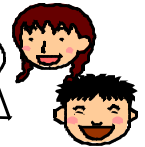
〇〇くんは、どんな道具を使って平行四辺形をかいたのですか。

三角定規と定規です。

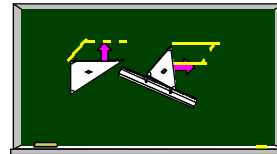


〇〇くんは、三角定規と定規で何をかくとしますか。

平行な辺をかきたいんだと思います。



なるほど。では、〇〇くんの説明をみんなで聞きましょう。



黒板で作図しながら説明。



〇〇くんが説明したことを隣の席の友達と、もう一度言ってみましょう。

辺イウと辺アエが平行になるようにかくと言っていたよ。



辺アイと辺エウも平行になるようにかくと言っていたね。



〇〇くんは、なぜこの方法で平行四辺形をかこうと思ったのですか。

平行四辺形は、向かい合った2組の辺が平行だからです。



練り合い②→ 向かい合った2組の辺の長さが等しくなるようにかく。

進め方については、〈練り合い①〉の進め方と同じ問いかけにならないように留意した。解決方法に対し、様々な切り込み方、アプローチの仕方を身に付けさせたいと考えたためである。



〇〇さんが、ワークシートに書いた説明を読んでみましょう。

「向かい合った辺の長さが等しくなるようにかいた。」です。



どの辺の長さが等しくなるように書いたのですか。

辺イウと、辺アエです。
辺アイと、辺エウです。



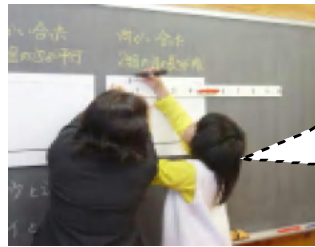
〇〇さんは、何をを使ってかくとしますか。

コンパスと定規だと思います。

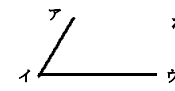




では、〇〇さんに説明してもらいましょう。



黒板で作図しながら説明。



*本時の授業では、上記の2つの方法の他に「隣り合った角の大きさの和が180度である。」という性質を活用した作図方法も出された。

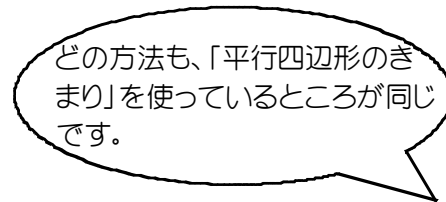
☆それぞれの方法について話し合った後、「まとめ」の過程につなげるために以下の発問をした。



いろいろな方法がありましたね。
それぞれ方法がちがうのに、どうして同じ平行四辺形をかくことができたのでしょうか。



その方法でかいた理由が、みんな「平行四辺形のきまり」の中に入っています。



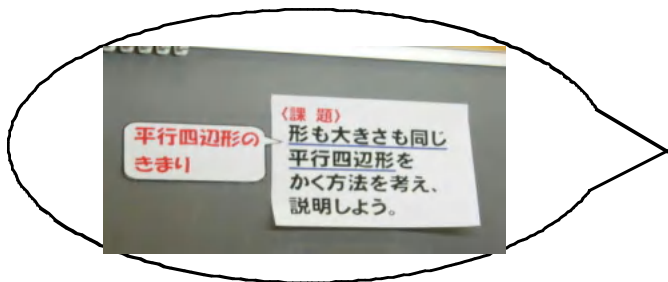
どの方法も、「平行四辺形のきまり」を使っているところが同じです。

〈まとめ〉

手立て⑧：児童が学習を振り返り、記述・発言する内容が本時のねらいに結び付くよう、課題の内容を再確認してから、ワークシートにまとめを書かせるようにした。



今日の課題を、もう一度確認します。
みんなで課題を読んでみましょう。



形も大きさも同じ平行四辺形のかき方について、分かったことをワークシートに書きましょう。



今日の学習で分かったことを発表しましょう。



形も大きさも同じ平行四辺形は、平行四辺形のきまりを使うとかくことができます。

形も大きさも同じ平行四辺形をかく時は、平行四辺形のきまりを使います。



(注) 児童は、平行四辺形の定義と性質のことをまとめて、「平行四辺形のきまり」と言っている。

☆板書

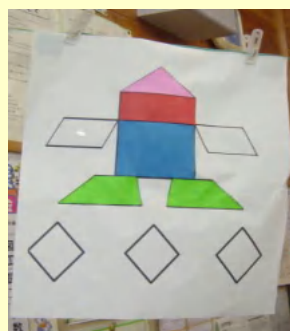
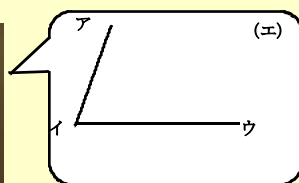
<p>【課題】 形も大きさも同じ平行四辺形をかく方法を考え、説明しよう。</p>	<p>◎向かい合った辺が平行</p>	<p>◎向かい合った辺の長さが等しい</p>	<p>◎隣り合った角度の和が180°</p>	<p>【まとめ】 形も大きさも同じ平行四辺形をかく時は、平行四辺形のきまりを使えばよい。</p>
	<p>作図① (児童が説明しながら作図した平行四辺形)</p>	<p>作図② (児童が説明しながら作図した平行四辺形)</p>	<p>作図③ (児童が説明しながら作図した平行四辺形)</p>	
<p>途中まで全体で作図したもの</p>	<p>平行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺イウと辺アエ ・辺アイと辺エウ 	<p>長さが同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺イウと辺アエ ・辺アイと辺エウ 	<p>となり合った角の和が180°</p> <ul style="list-style-type: none"> ・角ウ$=110^\circ$ ・角ア$=110^\circ$ 	

(2) 授業リフレクション

主な協議内容

〈協議テーマ1〉 児童の実態に応じた見通しのもたせ方

- ・自力解決が円滑に進められた児童が多かったため、あまり踏み込まずに見通しをもたせる方法もあったかもしれない。しかし、本時の場合は、教師が日常の児童の実態を十分に把握し、丁寧に見通しをもたせたことが有効であった。このことにより、児童が自分の考えをもち、それらを基にした練り合いが可能になった。また、ねらいからぶれることなく授業を進めることができた。
- ・単元全体の学習の見通しをもたせる手立てとしてロケットの図を活用したことは、児童の意識の流れをつなぐ役割を果たしており、有効であった。



〈協議テーマ2〉 ワークシートの設問の設定

- ・本時のねらい達成につながる設問をさらに検討していく必要がある。「作図の方法」と「作図の根拠」を混同してとらえ、記述している児童も、若干名見受けられた。何を書いたらよいのかが、児童に明確に伝わるような設問にしていく必要がある。

〈協議テーマ3〉 練り合いの進め方、教師のかかわり方

- ・教師が意図した練り合い（＝児童が互いの考えへのかかわりを深める）になっていた。他の児童にもう一度説明させたり、説明の展開や根拠を予想させたりするなどの手立てが有効であった。
- ・練り合いの視点を明確にしたことや、それぞれの考えを比較・検討させたことにより、児童の考えが本時のねらいへとつながった。
- ・いくつかの平行四辺形の性質を複合的に使った作図方法を考え出した児童もいた。このような児童に対しては「完成した図形は、本当に平行四辺形かな。」等、ゆさぶりをかける発問を行うことで、考えがさらに深まるだろう。



指導・助言

①本時の授業に関して

- ・ねらいを十分に吟味してから授業を構想したため、本時の価値付けが明確な授業であった。また、本時の価値を教師と児童が共有することができた授業であった。
- ・見通しのもたせ方については、教師が児童の実態をよく把握し、踏み込む程度を見極めることが大切である。本時の場合、途中まで全体で作図方法を考えたことは、児童の実態に応じており、結果の見通しが明確になった。ただし、方法の見通しに関する発問もあった方が良かった。
- ・発表内容をもう一度言わせたり、説明の展開や根拠を予想させたりすることで、思考する活動の多い授業となった。
- ・作図の授業は、完成した図形がみな同様であるため、思考や作図の過程を見取ることが難しい。本時のように、図形の定義や性質と作図方法とを行き来したり、根拠を明らかにしたりすることで、児童の意識の中に思考や作図の過程を残すことができる。
- ・複合的な考えが出された場合は、「その方法で本当に平行四辺形がかけるかな。」等、ゆさぶりをかけると、さらに深まりのある授業になる。

②研究内容・方法に関して

- ・授業改善は、組織ぐるみで取り組んでこそ成し得ることができる。本研究が、共同体制により推進されたことは、非常に意義深いことである。
- ・ねらいが意味するものを徹底的に検討することを、常に授業づくりの起点としていた。このことにより、児童の姿に応じた支援や視点が明確な練り合いが可能になった。
- ・根拠を明確にする活動を積み重ねることにより、「考える力」は培われていく。児童に、「なぜそうなるのか。」と問いかけ、その根拠を引き出す活動を大切にしたい。

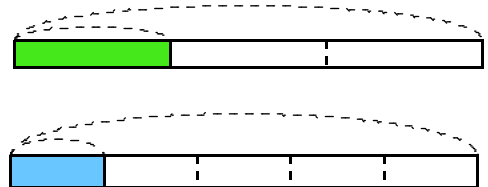
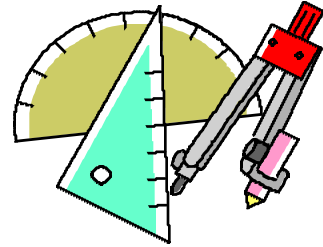
算数科部会の成果と課題

《成果》

- ・本時のねらいを十分に吟味し、授業の最後に期待する児童のつぶやきを具体的に設定することから授業構想を始めたことにより、各学習過程でどのような活動をさせればよいかが明確になった。
- ・児童の意識の流れを想定したことにより、児童の姿を詳細にイメージしながら授業を構想することができ、有効な手立ての設定につながった。
- ・問題解決的な学習過程における手立てを工夫したことにより、多くの児童が、見通しをもち、根拠を明らかにしながら考えるようになっていく。また、解決方法を交流させる活動においても、児童相互のかかわり方や発言の内容に向上が見られる。
- ・共同研究体制により、算数科部会が目指す児童像の具現化に向けた授業改善が推進された。
- ・「考える力」の育成を目指して授業改善に取り組んだことにより、問題が解けることのみをゴールとするのではなく、如何に考えれば解決できるかというゴールを教師と児童で共有しながら授業に臨むことができるようになった。
- ・児童の意識調査（毎学期実施）における、「授業内容を理解することができましたか」の設問に対する回答を見ると、「5」及び「4」の段階が増加し、「2」及び「1」の段階が減少しており、良好な結果に推移している。

《課題》

- ・児童の実態に応じた見通しのもたせ方については、授業展開の全てを左右するほどの事項である。今後も、その重要性を意識し、熟考しながら適切な見通しをもたせる手立てについて吟味していきたい。
- ・児童が「何を」「どのように」表現するとよいか理解しやすく、教師も児童の考えを見取りやすいように、ワークシートの内容や設問等をさらに工夫していきたい。
- ・児童が自分の考えを確かなものにしたり、互いに効果的に伝え合ったりする活動を活性化させるため、言葉や式、図、表、グラフなどを用いて表現する活動をさらに充実させていきたい。
- ・練り合いの過程において、児童の考えを適切につなぎながら本時のねらいを達成することができるような教師のかかわり方について、さらに研究を深めていきたい。特に、培いたい数学的思考力や児童の実態を踏まえて、児童の思考を深め広げるための効果的な発問や支援について明らかにしていきたい。



生活科の研究

生活科部会が目指す「考える力」

活動や体験に積極的にかかわり、気づきの質を高めていく力

「考える力」を身に付けた児童像

具体的な活動や体験に積極的にかかわり、いろいろな気づきをもてる子
活動を通して学び合い、それまでの気づきや既存の知識を基に新たな気づきを見出す子



「考える力」を育成するための授業づくりのポイント

①児童の思いや願いを重視した指導計画の作成

単元の目標を学習指導要領と照合させながら吟味し、児童に身に付けさせたい力を明らかにする。そして目標の達成に向け、児童の思いや願いを想定しながら、児童が引きつけられるような活動や体験を指導計画の中に位置付けていく。児童の思いや願いを重視して授業づくりを行うことにより、児童の気づきを生かした学習を展開することができる。

②気づきの質を高めるための活動や体験の工夫

学習を進める中での児童の思いや願いを想定し、学習の対象に繰り返しかかわっていただけるような活動を位置付けたり、体験と振り返りの時間を確保するための60分授業を活用したりして、活動や体験の導入の仕方を工夫していく。児童が主体となって活動や体験にかかわっていただけるよう環境構成をして授業づくりを行うことにより、児童がいろいろな気づきをもてるような学習を展開することができる。

③活動や体験を生かした振り返り

具体物を通して話し合いができるような、伝え合い・交流する場を設定する。また、学び合いを促す教師の働きかけを吟味し、視覚の面からも気づきの質を高めていけるように児童の考えを整理・分類した板書を工夫する。活動や体験を生かした振り返りを重視して授業づくりを行うことにより、児童は自分の気づきを自覚したり互いの気づきを共有し関連付けたりすることが可能になり、気づきの質を高めていく学習を展開することができる。

生活科研究構想図

〈研究主題〉

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

〈本校生活科が目指す「考える力」〉

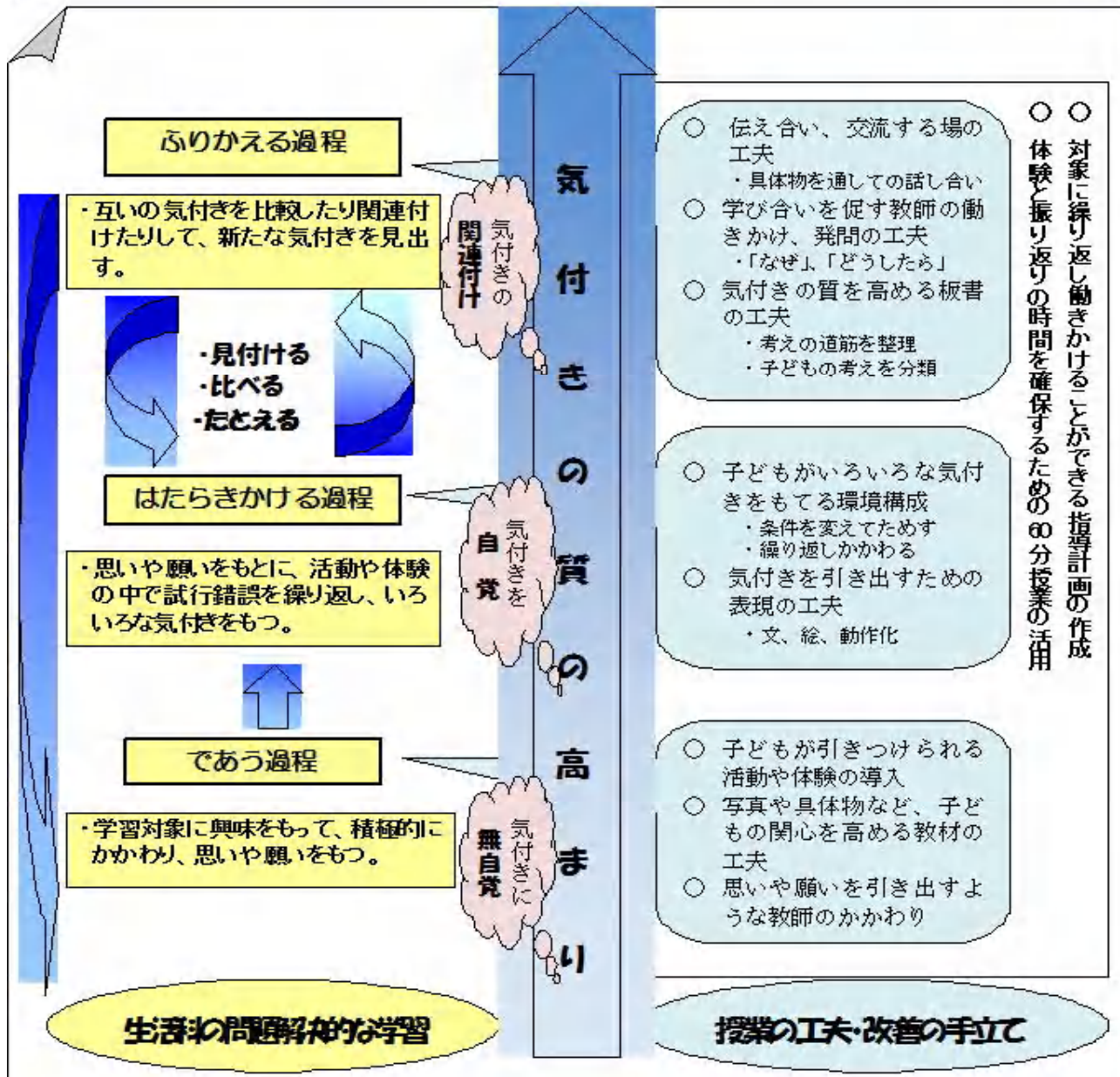
○活動や体験に積極的ににかかわり、気づきの質を高めていく力

(本校生活科では気づきの質を高めることに焦点を当て、それを「考える力」と捉えている。)

〈本校生活科の目指す「考える力」を身に付けた児童像〉

○具体的な活動や体験に積極的ににかかわり、いろいろな気づきをもてる子

○活動を通して学び合い、それまでの気づきや既存の知識を基に新たな気づきを見出す子

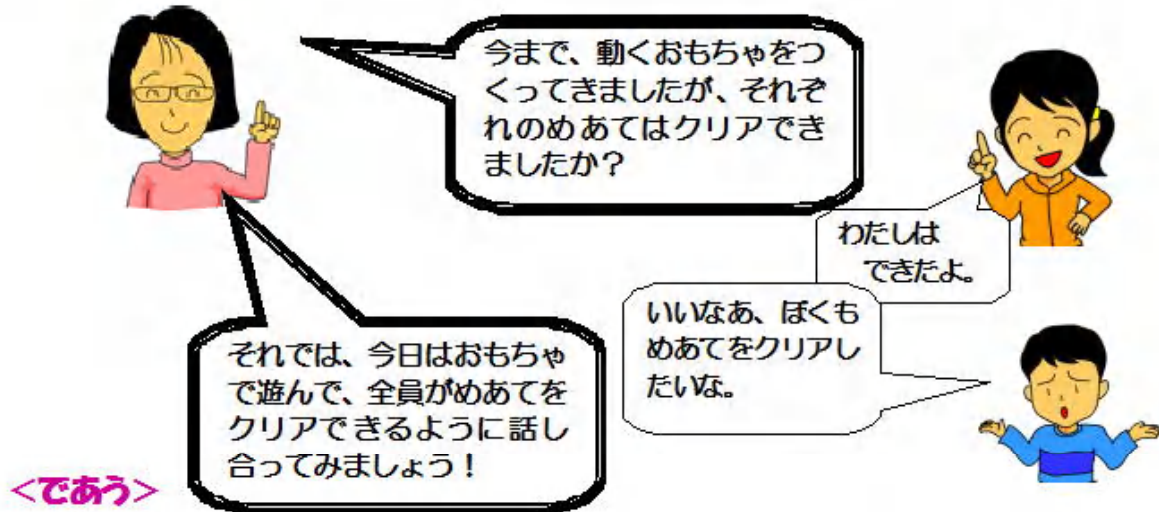


授業研究の実際

(1) 研究授業

○第2学年 単元名：「つくって、あそんで、楽しもう」

本時のねらい：前時までにつくったおもちゃでめあてをクリアできるように友達と話し合うことを通して、より楽しいおもちゃをつくるための工夫に気付くことができる。



振り返りカードを見て、自分がどんなめあてをもっていたのかを確認してみましょう。



手だて①

自分が決めためあてを声に出して読ませることで、自分のめあてを確認させた。





みんなが、めあてをクリアできるといいなあ!

それでは、お友達と一緒に遊んで、全員のめあてがクリアできるようにアドバイスしてあげましょう。



<はたらきかける>

では、みんなで楽しく遊んでみましょう!!



手だて②

今までの活動を生かした多様な気づきが出るよう、同じ素材を利用しながら同じようなめあてをもっておもちゃづくりをしている児童毎にグループ分けをして遊ばせた。

写真:グループ分け



あっ、私は『水グループ』だ!

僕はひもを使っているから、『ひもグループ』だ!

そうか!
私は『磁石グループ』だ!

手だて③

グループで遊びながらの交流の時間が確保できるよう、単位時間を60分に延長した。



【水グループ】



【磁石グループ】



【空気グループ】



【ひもグループ】

手だて④

うまくいった児童の例と、いかない児童の例を比較する中で、自然に児童が素材の使い方に気付いていけるような投げかけをしていった。



こっちの船の方がはやく動くけど、あっちの船と何が違うのかな？

あっ、ストローの太さが違う。太い方がはやく進むんだ！

すごい発見だね！



じゃあ女の子に作り方を教わったらどう？

女の子のはよくとぶのに、僕のはとばないよ！

ロケットをもう少し小さくしてみたら？

うまくいってる子のおもちゃを使わせてもらったらどうかな

僕のは飾りがすぐおっこってきちゃうんだよ・・・

<ふいかえる>

めあてをクリアするために発見したことを、みんなで話し合ってみましょう！



手だて⑤

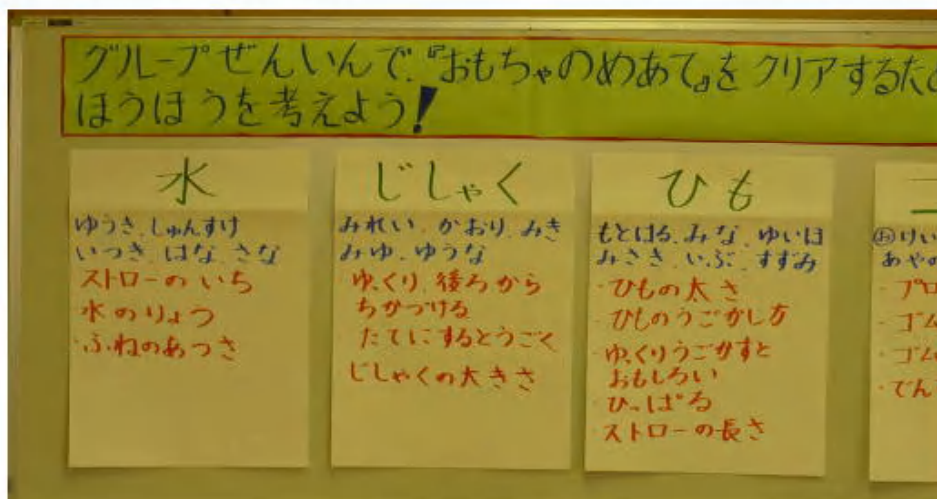
発表に対する抵抗を無くすため、気付いたことを付箋に簡単に書かせてから発表をさせた。



付箋に気づきを書いている児童



気付いたことを発表している児童



児童から出てきた気づき



おもちゃをパワーアップする方法がいっぱい出てきましたが、次はどんなことをしたいですか？！

それでは次の時間は、自分のおもちゃをもっと楽しいものにしていきましょう！



もっとすごいおもちゃにしたいな！

(2) 授業リフレクション

主な協議内容

〈協議テーマ1〉 グループでの活動について

- ・ 同じ素材を利用して、同じようなおもちゃをつくっている児童をグループにして活動させたことは、児童の気付きを高めるために有効な手段であった。
- ・ 児童がお互いのおもちゃを比べやすくするよう、的やコースを用意しておく等、環境の構成を十分に検討して整備しておく必要があった。
- ・ 児童がグループで協力し合っめあてを達成できるよう、活動中もめあてを意識できるような声かけや支援が必要であった。



〈協議テーマ2〉 児童の気付きのつなげ方

- ・ 教師二人が分担してグループをまわって声かけをしたことで、個々の気付きが、グループ内にだいぶ伝わっていた。
- ・ 児童個々のめあてを高めたり、友だちと交流を深めていくような声のかけ方を更に工夫していく必要がある。



〈協議テーマ3〉 振り返りの方法

- ・ グループ毎の振り返りの場を設定するなど、より効果的な振り返りの方法を考えることが必要である。
- ・ 全員の児童が経験していないことを振り返りの場で表現させるときは、実物を用いた実演を取り入れるなど、全ての児童が他のグループの活動をイメージできるような工夫が必要である。

リフレクションの班協議の様子



指導・助言

①本時の授業に関して

- ・新学習指導要領に記載されている改善の方向性を踏まえた授業であった。
- ・友だちや教師の一言から、各児童が気付きをもちながら考えるという、思考と気付きの質の高まりがセットになった授業であった。
- ・「はたらきかける」過程では個々で思考し、子どもたちが個のめあてにこだわっていたところを、「ふりかえる」の過程でいきなりグループや全体で考えさせたところに無理があった。グループでの交流をスムーズにするため、グループでのめあてをもたせて活動させると良かったのではないか。
- ・環境構成について

物的環境構成	材料や道具を児童の側に置けば、より活動が活発になったのではないか
人的環境構成	グルーピングして活動させることにより、気付きの質の高まりが見られた。
時間的環境構成	60分授業にしたことで、活動と振り返りの時間が確保できた。ただし時間の使い方については、要検討である。
空間的環境構成	広いスペースで、グループ毎に場所を区切ったことが豊かな活動を可能にしていた。
雰囲気的环境構成	児童が安心して活動に取り組むための、教師の態度がよかった。

②研究内容・方法に関して

- ・新学習指導要領に示されている内容を取り入れた研究である。気付きの質を高めるとはどういうことかを頭に入れて、今後も実践を行ってほしい。(指導要領 解説 P11 参照)
- ・生活科の授業は、児童の思いや願いを大切にしながら授業を組み立てていくことが大切である。研究の中でこの力が教師に身に付いてきた。今後も児童の思考を大切にしていってほしい。

生活科部会の成果と課題

《成果》

- ・生活科の授業は、児童の思いや願いを大切にしながら授業を組み立てていくことが大切である。研究の中でこの実践を積み重ねてきたことによって、児童の思いや願いに即して授業を進める技術が教師に身に付いてきた。
- ・授業の中で活動を充実させるために、指導計画の見直しを行ったことにより、地域の人材や環境を有効に指導の中に生かすことができるようになってきた。
- ・気付きの質を高めることを常に念頭に置き授業づくりを行ってきたことで、児童の活動の幅が広がり、活動の中から何かを発見するという力が育ってきている。
- ・授業の中に問題解決的な学習過程を設定したことにより、さまざまな視点から物事を考える力が児童に育ってきている。

《課題》

- ・児童が多様な思いや願いをもちながら活動するために、更に教師は児童の意識の流れを様々な視点から予想し、それに対する支援を具体的に考えていく必要がある。
- ・児童の気付きは多様である。児童が活動している中でそれぞれの気付きをひろってつなげ、活動や体験を振り返りに生かしていくためには、どのタイミングでどんな言葉かけをしていけばいいのかを、児童の思いに沿って考えていく必要がある。今後も実践を積み重ねて支援の幅を広げていきたい。
- ・活動が充実しても振り返りがうまくいかないことがあった。単なる気付きの伝達の場合になることが無いよう、振り返りの場では、グループ毎の話し合い、実物を用いた実演などを取り入れ、効果的な振り返りを検討していく必要がある。

平成21年度 第1学年 生活科マトリックス

沼田市立升形小学校

単 元 名	時 期 時 数	内 容									具体的な 視点との 関わり
		(1) 学校生活	(2) 家庭生活	(3) 地域との つながり	(4) 公共物 公共施設	(5) 季節や地 域の行事	(6) 遊びの工 夫	(7) 飼育・栽 培	(8) 伝えあう	(9) 自分自身 の成長	
1 ともだちいっぱい、 つくるんだ	4・5月 11時間	◎			○				◎		イ エ カ (サ)
2 そだてよう、 さかせよう I・II	5～10月 20時間			○		○		◎			キ ク
3 あそびにいこう	6・7月 8時間				◎	○	○				ウ エ キ (ク サ)
4 いきものと なかよし I・II	5～9月 8時間			○	○	○		◎			キ ク (エ)
5 はっぱのいろが かわったよ	10・11月 19時間				○	◎	◎		○		キ ク ケ (カ)
6 あそびを おしえてもらおう	1月 5時間		○	◎		○			○		イ ウ (カクサ)
7 みんなだいすき	12・1月 10時間		◎						◎	◎	オ コ サ (カ)
8 ふゆをたのしもう	1・2月 12時間			○		◎	◎		○		キ ク ケ (アイカ)
9 もうすぐ2年生	2・3月 9時間	◎							○	◎	コ (カサ)
計	102時間	◎2	◎1○1	◎1○3	◎1○3	◎2○4	◎2○1	◎2	◎2○4	◎2	

具体的な視点
ア 健康・安全
イ 人との接し方
ウ 地域への愛着
エ 公共意識マナ ー
オ 生産と消費
カ 情報と交流
キ 自然との触れ 合い
ク 時間と季節
ケ 遊びの工夫
コ 成長の喜び
サ 生活習慣生活

平成21年度 第2学年 生活科マトリックス

沼田市立升形小学校

単 元 名	時 期 時 数	内 容									具体的な 視点との 関わり
		(1) 学校生活	(2) 家庭生活	(3) 地域との つながり	(4) 公共物 公共施設	(5) 季節や地 域の行事	(6) 遊びの工 夫	(7) 飼育・栽 培	(8) 伝えあう	(9) 自分自身 の成長	
1 はるがいっぱい	4月 6時間	○		◎		◎					キ ク (カ)
2 やさいをそだてよう	5～10月 15時間			○				◎			イ オ キ (ア)
3 ぼうけん、はっけん、町たんけん	5・6月 19時間			◎	◎	○			◎		イ ウ エ カ (ア)
4 生きものをかおう	7・8月 9時間					○		◎			キ ク コ
5 もっとまちの人と なかよくなろう	8～10月 15時間			◎	◎	○					ウ エ オ (アイサ)
6 つくってあそんで たのしもう	11・12月 15時間	○						◎			イ ケ (カ)
7 あしたへジャンプ	1～3月 26時間	◎	◎	○					○	◎	コ (カ)
計	105時間	◎1○2	◎1	◎3○2	◎2	◎1○3	◎1	◎2	◎1	◎1	

具体的な視点
ア 健康・安全
イ 人との接し方
ウ 地域への愛着
エ 公共意識マナ
オ 生産と消費
カ 情報と交流
キ 自然との触れ 合い
ク 時間と季節
ケ 遊びの工夫
コ 成長の喜び
サ 技能

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
単 元 名	【1年】	そだてようかせようⅠ(11) ・たねまきをしよう ・なえうえをしよう ・まいにちせわをしよう ・たくさんはなをさかせよう		そだてよう、 さかせようⅡ(9) ・くさばなであそぼう ・たねをあつめよう ・しゅうかくしよう ・きゅうこんもうえたいね		はっぱのいろが かわったよ(19) ・こうていのあきみつけたよ ・のはらはどうなっているかな ・あきのあそびばへいこう ・つくろうあそぼう		あそびをおしえてもらおう(5) ・むかしのあそびをしてみよう ・あそびかたをおしえてもらおう ・あそびをしようかいしよう					
	ともだちいっぱいくるんだ ・なかよくあそぼう(11) ・がっこうたんけんをしよう ・なかよしまつりにいこう	いきものとなかよしⅠ(4) ・どうぶつをかおう		あそびにいこう(8) ・がっこうのまわりをあるこう ・みなみちゅうにあそびにいこう ・きゅうしょくせんたあのけんがく		いきものとなかよしⅡ(4) ・いきものともだちになろう		みんなだいすき(10) ・うちのひとといっしょにしよう ・たのしかつたことをおしえあおう ・もっとたのしくしよう		ふゆをたのしもう(12) ・ふゆをさがそう ・ゆきやこおりであそぼう ・つくってあそぼう		もうすぐ2年生(9) ・これまでのことをおもいだそう ・あたらしい1年生をむかえよう ・2年生になったら	
単 元 名	【2年】	やさいをそだてよう(9) ・そだてるやさいをきめよう ・なえをうえよう ・せわをしよう		やさいをそだてよう(6) ・しゅうかくしよう		もっと町の人となかよくなろう(16) ・なつの町でしたことをおしえあおう ・町に行く計画をたてよう ・町へでかけよう ・町のすてきをはっぴょうしよう		つくってあそんでたのしもう(15) ・どんなものであそぼうかな ・あそぶものをつくろう ・みんなでたのしもう		あしたへジャンプ(25) ・できるようになったよ ・じぶんたんけん ・とどけようわたしの心 ・これからのわたし			
	はるがいっぱい(6) ・まちをあるこう ・見つけたことをおしえあおう	ぼうけん、はっけん、町たんけん(19) ・つうがくろで見つけよう ・町のひみつをおしえあおう ・町をたんけんしよう ・わたしの町をしようかいしよう		生きもののかう(9) ・生きものをさがしにいこう ・生きものともだちになろう ・生きものランドをつくろう									

総合的な学習の時間の研究

総合的な学習の時間部会が目指す「考える力」

調査・体験をして得た情報を分類・関連付けなどをして、自分の考えをつくり出す力

「考える力」を身に付けた児童像

活動や情報を基に、自分で考え、判断する子
様々な人とかかわりながら、考えを深めていく子



「考える力」を育成するための授業づくりのポイント

①問題解決的な学習過程を発展的に繰り返した単元構想

学習過程を「ふれる・つかむ」「追究する」「まとめる」「生かす・広げる」とし、それぞれの過程の中で、特に思考・判断に関わる活動において、児童の思考を活性化・深化させるような手立てを工夫する。児童は探究的な活動を繰り返しながら学習していくことによって、自分の考えをつくり上げていくことができる。

②適切で効果的な体験活動の設定

「ふれる・つかむ」過程では、問題や疑問の発見につながるような体験活動を設定し、課題について考えることができるようにする。

「追究する」過程では、確かめ、深めるための体験活動を設定し課題について多面的に考え自分の考えを広げたり、深めたりしていけるようにする。

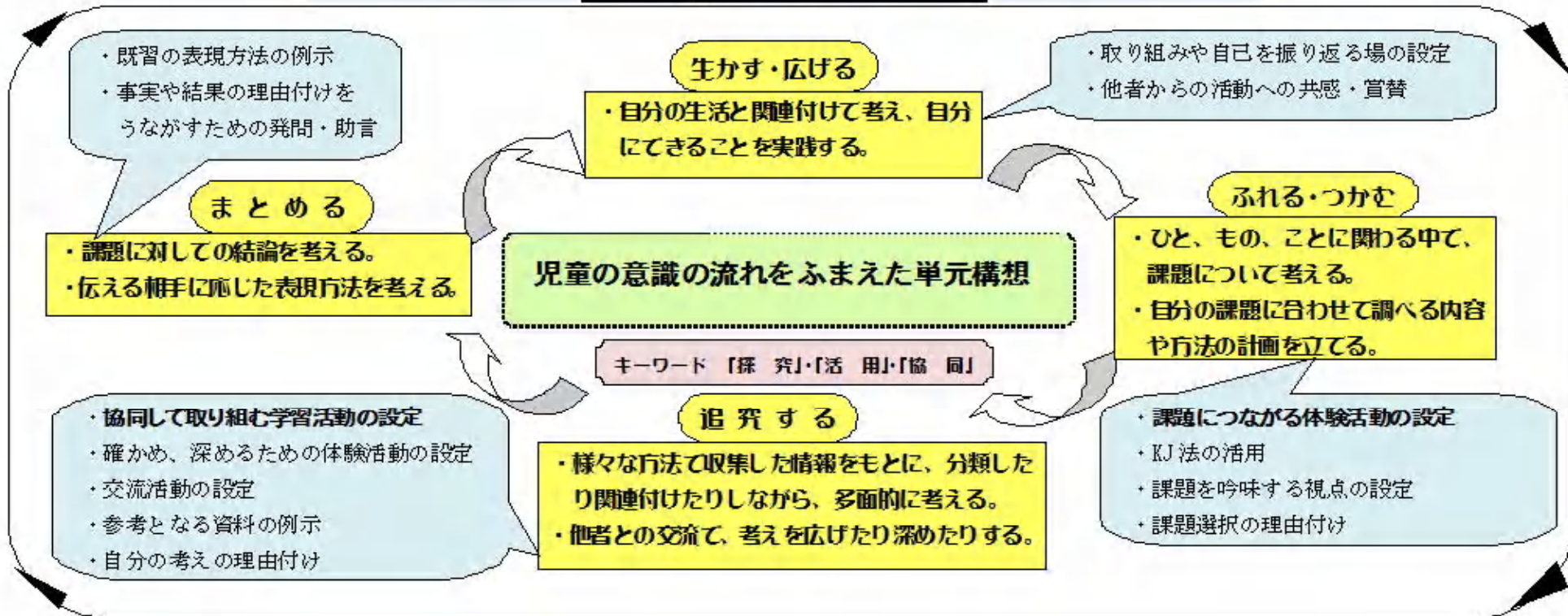
③考え方の視点の設定と児童から引き出したい考えの明確化

課題づくりでは、課題を吟味する視点を設定することで、適切な課題を考えることができるようにする。調べたことを整理・分類する学習では、自分の考えを明確にした上で、他者との交流活動で考えを深めていくようにするが、その際に、分類の視点や児童の考え方の視点を設定することで児童が考えやすいようにし、単元の目標につながる考え方ができるようにする。児童から引き出したい考えを、教師側であらかじめ想定しておき、授業の中で例示や助言をしながら考えがもてるようにしていく。

「総合的な学習の時間研究構想図」

〈研究主題〉 **「考える力」を育てる授業の改善** ～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

- ★総合的な学習の時間において目指す「考える力」⇔ 調査・体験をして得た情報を分類、関連付けなどをして、自分の考えをつくり出す力
- ★「考える力」を身に付けた児童像
 - 活動や情報を基に、自分で考え、判断する子
 - 様々な人とかかわりながら、考えを深めていく子



授業研究の実際

(1) 研究授業

○第5学年 単元名：「お米 再発見！」（本時は75時間中の追究する過程の44時間目）

本時のねらい：稲刈りから精米までの調査・体験から得た情報を基に、小課題について自分で考えたことを、友達との交流で深めることができる。

<授業の視点>

同じ小課題で追究している児童同士で意見交流をする場面で、質問をしたり、友達の考えと比較をしたりしながら進めていったことは、小課題についての自分の考えを広げたり深めたりする上で効果的であったか。

【つかむ】・・・課題把握

<本時のめあて>

班の友達と意見交流をして、小課題についての自分の考えを見直そう。

手立て1 児童の意識の流れをふまえた本時のめあての提示

児童の「考えを深めたい」という意識を引き出した上でめあてを提示した。



先週、自分の考えをもちましたが、自信がある人？

まだ自信のない人がいるから、全体交流では自信をもって伝えるようにしたいね。そこで、今日は班で、意見交流を行い自分の考えを見直して、自信をもったり、深めたりしましょう。

あまり自信がないな。

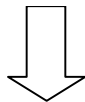


話し合いでもっと自分の考えを深めていきたいな。



【追究する】

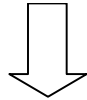
同じ小課題について調べている班で、考えを交流し合ひましょう。



手立て2 「進め方カード」の活用

「進め方カード」を活用して意見交流の進め方や留意点確認をし、意見交流をスムーズに進めていけるようにした。





意見交流の進め方カード

- ①自分の考えを発表する。
- ②聞いている人は、質問をする。
- ③意見の交流をする。
- ④大事なことをメモする。

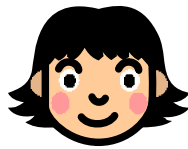
手立て3 考え方の視点等の提示、写真の活用、教師の参加

考え方の視点を設定し、意見を出しやすくすることで、安全な米作りや米の大切さ・地域の人々の知恵と努力に気付いていけるようにした。

意見交流の様子を見取り、新たな視点を提示したり、写真を活用したり、教師が意見交流に参加したりして、考えを深めたり広げたりできるようにした。

小課題「安全な米作りの環境」の班

考え方の視点例：農薬や化学肥料を使うことに賛成か反対か。



無農薬でお米を作るのは、人にも環境にもやさしいからたくさんの人に行ってもらいたいです。

無農薬は、除草などすごく大変なので、2・3回は農薬を使ってもいいと思います。



小課題「米作りの昔と今」の班

考え方の視点例：昔から今を調べて、米を作る仕事についてどう考えるか。



わたしは、昔から今へと進歩してより効率がよく、楽に作業ができると考えていたけど、それは昔の人の知恵や技術が今へと伝わったからだと考えました。

小課題「収穫後の稲の利用と米やご飯になるまで」の班

教師の参加：話し合いが停滞していたので、教師と一緒に参加して、支援。

なぜ、わたしたちの周りでわらやもみがらが利用されなくなったのかな？



わらに替わるものが身の回りにないかな？



ビニールのひもやたこ糸のような丈夫なものに替わってきているから、身の回りであまり利用されなくなってきたと思います。

小課題「米作りの工夫・苦勞」の班

新たな視点の提示 1



なぜ、地域の人に農家の人の苦勞を知らせたいのか考えてみよう。

地域の人が、農家の人が工夫や苦勞をして米作りをしている事を知ってご飯を食べると、おいしいし、ご飯を残さないように大切に食べるからです。

新たな視点の提示 2

小課題「米の種類と適した自然条件」の班



全体交流で伝えたいことを班で話し合ってみよう。

分かったことは、「ミネラルを含むわき水を使うと、おいしいお米ができる」だね。それから、「お米のよさをアピールしてお米作りをする人を増やしていける活動が必要。」という考えは大切だね。





写真の活用：除草の体験の写真を提示して、その時の思いを想起させ、対立意見が出せるようにした。



学習シートのメモを読み返し、取り入れたい考えをはっきりさせながら、もう一度自分の考えを書きましょう。

お米を作る量が最近では減ってきたから、わらやもみがら、ぬかで作ってある物は大切にしたい方がよいと思うな。



同じ考えの人がいて自信を持ったな。

【まとめる】

意見交流をして、見直した考えを発表しましょう。



手立て4 意図的な指名
考えが深まった児童を意図的に指名して発表させ、考えが深まったことを賞賛することで、本時のめあてが達成できたことを自覚できるようにした。



わたしは、無農薬でお米をたくさんの人に作ってほしいと考えていました。でも、完全に農薬を使わないでお米を作るのはとても大変なので、少しぐらいは農薬を使ってもいいと考えが変わりました。

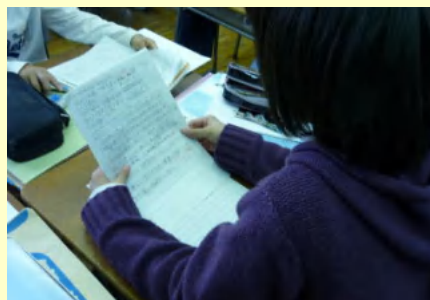
お米を干すときは、やっぱりおいしくできる天日干しの方法でやりたいと考えました。

(2) 授業リフレクション

主な協議内容

〈協議テーマ1〉 効果的な意見交流の進め方

- ・話し合いの視点が明確になっていたため、話し合いが途切れず活性化し、考えの深まりが見られた。また、質問されたことについて説明することで考えが確かになったり、周りの児童の知識が広がったりする様子が見られた。
- ・班全員の学習シートのコピーを活用したり、小課題別のグループで話し合ったりしたことで、質問や意見が出しやすくなりスムーズに進められた。
- ・学習シートの活用法として、メモやアンダーラインを引くなどが考えられる。
- ・上位の児童が下位の児童から学ぶという姿勢をもたせていくことも必要である。
- ・グループ毎に、話し合いの進捗が一目で分かるような掲示をしておくことで、教師が様子を把握でき支援しやすくなる。

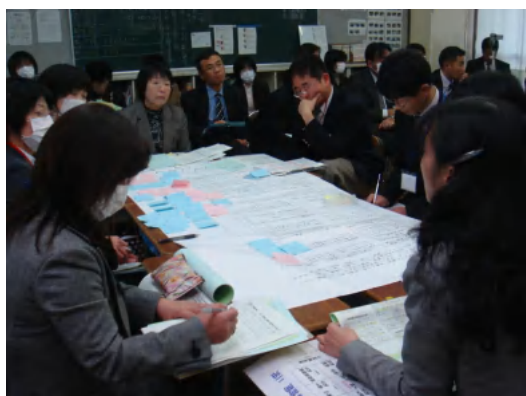


〈協議テーマ2〉 児童の考えの深まりをどのように見取り支援したらよいか

- ・教師が個々の児童の考えを事前に把握し、考え方の視点を準備しておいたことで、タイミングよく支援できていた。
- ・新しい視点から考えることができれば、それが深まりになると言える。
- ・まとめの記述に、考えたことを十分に表せない児童もいるので、発言の様子をできるだけ見取るようにすると良い。
- ・体験や前の学習と関連付けさせる支援がさらに必要である。

〈協議テーマ3〉 書けない子への支援の方法

- ・書くという作業は、個人差が大きいのでコピーを活用して印を付けさせるだけでも変容が見取れる。
- ・事前の体験活動の際に、後で書けるように意図的に体験をさせてやる方法もある。
- ・班内でも、協力し合う態勢ができるとよい。



リフレクションの班協議の様子

指導・助言

①本時の授業に関して

- ・研究構想図の目指す児童像を具現化した授業であった。
- ・4回目の整理分析の授業ということで、賛成か反対か、他の意見はあるかで話し合わせることで、自分の考えが広がったり自信が深まったりした。
- ・児童の考えが多少流され、同じ意見になった感があった。子どもたちが悩み葛藤し、本音が見られると良かった。
- ・消費者の目線から生産者の目線にもなり、両方の目線から考えて深められていた。
- ・本時の前の段階で、児童にしっかり考えをもたせておくことができ、実態把握もできていた。ワークシートに先生の朱書きが加わっていて、支援が入っていた。
- ・本時で質問に答えられなかった児童が、全体交流の前に、(なぜ玄米が食べられていないか等について、)十分な情報を集められるとよい。

②研究内容・方法に関して

- ・児童の意識の流れを中核に据えた単元構想に価値がある。本校の単元計画は、升形小の総合の教師用教科書・指導書といえる。
- ・総合は教科書がないので、子どもたちに何を学ばせるのか、なぜ学ばせるのかを各学校で考えなければならない。そして、「学ばせたいこと」を子どもたちに「学ばせる」ために、必要な活動を仕組まなければならない。升形小の単元計画には、子どもたちにどんなことに気付かせるために、教師がどんな活動を仕組むのかが示されている。
- ・升形小は学校組織として取り組み、授業を考えている点が良い。指導計画は綿密な計画が立てられ、指導の方向性が明確になっている。大変な手間のかかる作業だが、一度作ってしまうとその後がスムーズにいくので、是非一度作ってほしい。
- ・本時の配布資料では、具体的に子どもたちのどんな考えを引き出したいかが示されている。

総合的な学習の時間部会の成果と課題

《成果》

- ・ねらいにつながる体験活動を設定したことにより、それを根拠として児童が自信をもって自分の考えを発表することができた。
- ・友達との交流活動の場を設定し、考え方の視点の設定や引き出したい考えを明確にして、質問をしたり友達の考えと比較させたりしたことにより、考えが広がったり深まったりした。また、話し合いを深めようとする児童の姿も見られるようになった。
- ・意見交流の時間では、前時の児童の考えをよく見取っておくことにより、意見交流が苦手な児童へ支援したり、話し合いが滞っている班に新たな視点を提示して意見を引き出したりするなどの個やグループへの支援に生かすことができた。
- ・プレ授業、模擬授業を行ったことにより、授業の改善点が明確になった。
- ・地域の人と協同して解決に取り組む体験を通して、地域や地域に住む人のよさを実感し、地域を大切にしようとする態度が児童に育ってきている。

《課題》

- ・単元指導計画は、弾力的に扱い、毎年必要に応じて見直していくことが必要である。
- ・意見交流をさらに活発化するために、話し合いの場を確保して交流活動の充実を図ったり、自分の考えを進んで表現する力をさらに高めたりしていく必要がある。
- ・学習シートの記入欄をさらに工夫し、学年に応じたメモの取り方も指導していく。
- ・抽出児童を決めて観察することで、考えの深まりを把握していく。

総合的な学習の時間（いきいきタイム）全体計画

沼田市立升形小学校

【総合的な学習の時間の目標】 横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。	【学校の教育目標】 ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○ねばり強い子	【児童の実態】 ○学習課題に対して意欲的に取り組むことができる。 ○教師の指示を素直に守ろうとするが指示待ちが多い。 ○自分の考えをうまく表現できない。 ○学習で身に付けた力を生かすことが苦手である。
---	---	---

【いきいきタイムの目標】
 地域の自然・人々・歴史・文化にふれながら、探究的な学習を行うことを通して、自ら問題を見付け、情報をもとに多面的に考え判断し、追究する力を身に付け、他者と協力し合って解決できるようにするとともに、地域のよさを理解し、よりよい未来を創り上げようとする。

目指す児童像
 ○自分から課題を見つけ、見通しを持って活動する子
 ○自分の考えをもって、粘り強く取り組む子
 ○進んで課題に取り組み、他者と協力して、よりよい解決をしようとする子
 ○ものの学び方を身に付け、学んだことを生活に生かせる子

【育てたい資質・能力・態度】

育てたい資質・能力・態度	中学年	高学年
課題を設定する力	身の回りの事象や体験に興味を持ち、知りたいことや、やってみようと思うことを見つけ、めあてをもって課題を決めることができる。	身の回りの事象や体験から、進んで問題を見つけ、根拠を基に吟味しながら、見直しをもって価値ある課題を設定することができる。
情報を収集する力	必要な情報を収集しながら、学習を進めることができる。	目的に応じた情報の収集・選択ができる。
考え判断する力	情報を比較したり、関連付けたりして整理し、自分なりに考えることができる。	情報に応じて効果的な方法で整理し、その事実から多面的に考えて分析し、自分なりの結論をだしたり、深めたりしている。
表現する力	学習したことを工夫してまとめ、分かりやすく伝えることができる。	相手や目的に応じて工夫して分かりやすくまとめ、伝えたいことを効果的に表現することができる。
生かす力	身近な生活の中で、自分にできることを考え、行動しようとする。	学んだことと将来の自分の生き方との関わりを考え、地域の一員としてできることを実践しようとする。
他者と協力する力	友達や地域の人との交流で、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、よりよい解決をしていくことができる。	友達や地域の人と協力し合って、自分の考えを広げたり深めたりしながら、よりよい解決をしていくことができる。

【各学年の学習内容】領域：地域

学年	単元名	学習対象	学習事項
3年	【テーマ】とびだせ！ふるさとたんけんたい 「わたしたちの町のいい所を見つけよう」 (地域)	・果物作りの農家 ・伝統に力を注ぐ人 ・福祉施設	・学校区の自然を生かした産業・伝統文化・地域を支える施設と人々のよさ
	「ふるさとのこんにやくたんけんたい」 (地域・食)	・こんにやく芋の生態 ・こんにやく作りの農家 ・精粉工場の人	・こんにやく芋の栽培 ・こんにやく芋や作る人のよさ ・地域こんにやく作りの歴史や特色
4年	【テーマ】ふるさとの昔の暮らしをさぐる (産業・伝統)	・養蚕に関わっていた人 ・郷土資料室 ・蚕の不思議 ・地域の年中行事 ・伝統文化を継承している人	・地域の昔の産業や暮らしと農家の人の努力の理解 ・蚕の大切さや飼うことの大変さ ・地域の伝統行事の継承に力を注ぐ人々の思いと受け継いでいくことの大切さ
5年	【テーマ】お米、再発見！ (食・環境)	・米作り ・水田の生物 ・米料理 ・利根実業高校の人	・米作りの方法・苦勞 ・安心安全な米作りができる環境づくり ・地域の専門的知識・技能を持つ人々のよさ ・米の栄養・保存方法・多種の料理法
6年	【テーマ】升形をよりよい町にしよう 「やさしさの輪を広げよう」 (福祉)	・地域の福祉と伝統に関わる特色と問題点 ・地域のために活動している人々 ・身近にいる高齢者 ・地域の伝統芸能	・地域のために活動している人々の思い ・地域の福祉・歴史や伝統文化の理解 ・よりよい町づくりのための活動や取組 ・将来の自分の生き方との関わり
	「沼須人形芝居を伝えよう」 (伝統)		

【評価の観点と評価規準】

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
身近な自然・人々・歴史・文化に興味・関心を持ち、自ら課題を見つけ、意欲的に課題を追究し、学んだことを自分の生活に生かそうとする。	根拠を明確にして、課題を設定したり、収集した情報を整理・分析したりして、他者との交流で考えを広げたり深めたりすることができる。	情報を収集し、自分の考えを効果的な方法でまとめて分かりやすく伝えたり、地域の人と交流したり友達と協力したりすることができる。	地域や自然物の特徴やよさに気づき、多様なものの考え方や生き方を理解する。

第3学年 総合的な学習の時間 年間指導計画（95時間）

升形小学校

学年のテーマ：ふるさとをたんけんしよう

領域 【地域】

目標：自分たちの住む地域について調べたいことを課題としてもち、進んで課題解決に取り組むことを通して、地域やそこに暮らす人々のよさに気づき、地域に愛着を感じ、自分なりにできることをしていこうとする。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	「とびだせ町のたんけんたい」～わたしたちの町のいいところを見つけよう～ 【地域】（51時間）							「ふるさとのこんにやくたんけんたい」【地域（食）】（44時間）				
ねらい	○自分の身近な、人・自然・社会に興味・関心を持ち、そこから自分の課題を見つけ、友達と協力して問題解決できるようにする。							○地域の農産物について調べたいことを課題としてもち、進んで課題解決に取り組むことを通して、農産物や作る人々のよさに気づき、地域に愛着を感じ、大切にし、自分なりにできることをしていこうとする。				
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ☑沼田カルタをすることから地域にあものや人々に関心を持ち、課題を設定する。 ☑地域を探検したり、地域の人々にインタビューしたりして地域の特色について調べる。 ☑調べたことをガイドマップやオリジナルマップにまとめ発表する。 ☑活動を振り返り、これからの自分にできることを考える。 							<ul style="list-style-type: none"> ☑こんにやく掘りの体験を通して、課題を設定する。 ☑課題に沿ってこんにやくについて調べる。 ☑こんにやくについて調べたことをいろいろ方法でまとめる。 ☑活動を振り返り、これからの自分にできることを考える。 				
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー農園 ・ゆとり神社・ ・イチゴ生産農家 ・福祉施設 ・丸山木工所 ・八幡宮 							<ul style="list-style-type: none"> ・角田泰夫さん ・阿佐見文夫さん ・栄養士さん ・馬場一郎さん（こんにやく精粉工場） 				
他教科との関連	<p>国語：「分類ということ」「インタビューのしかた」「食べ物はかせになろう」</p> <p>社会：「学校のまわりのようす」「りんご園の仕事」「消防の仕事」</p> <p>理科：「植物をそだてよう」</p> <p>算数：「かけ算」「わり算」「重さ」</p> <p>保健：「リズムのある生活を送ろう」</p> <p>学活：「野菜の栄養」</p>											
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意識の流れをふまえ、適切な場面に体験活動を位置づける。 ○ 友達との話し合いや調査活動、地域の人々との交流を行うことで、考えを深めることができるようにする。 ○ 言語により分析し、まとめたり表現したりするする力をつけるために、学習シートに書く・話し合う活動を多く取り入れる。 ○ 指導と評価の一体化を図る。 											

第4学年 総合的な学習の時間 年間指導計画（100時間）

升形小学校

学年のテーマ：ふるさとの昔をさぐる 領域 【地域（産業・伝統）】

目標：地域の昔の様子を産業と季節の行事を視点に調べたり実際に体験したりすることを通して、ふるさとの人・もの・ことよさに気づき、学んだことを自分自身のよりよい生き方に生かそうとする。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単 元 名	「なるほど！季節の行事」 【地域（産業・伝統）】（100時間） ・カイコが教えてくれるふるさとの昔（56時間） ・もっと知りたい！季節の行事（44時間）											
ね ら い	季節の行事について調べたり体験したりすることを通して、ふるさとの産業や人々の生活との関わりについて知り、地域のよさや季節の行事の大切さに気づき、地域の一員として自分にできることを考え実践しようとする。											
学 習 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・カイコが教えてくれるふるさとの昔 ☐初午と地域の養蚕業の関わりを知り、課題を設定する。 ☐カイコを飼育したり地域の養蚕業について調べたりする。 ☐伝えたい相手や伝える内容を明確にし、それらに応じてまとめたり発表したりする。 ☐活動を振り返り、これからの自分にできることを考える。 						<ul style="list-style-type: none"> ・もっと知りたい！季節の行事 ☐季節の行事にはどんなものがあるか知り、課題を設定する。 ☐課題に沿って季節の行事について調べる。 ☐伝えたい相手や伝える内容を明確にし、それらに応じてまとめたり発表したりする。 ☐活動を振り返り、これからの自分にできることを考える。 					
指 導 体 制	<ul style="list-style-type: none"> ・阿左見加代子さん←養蚕業についての講師 ・小林幹夫さん←カイコの幼虫の提供者 ・真庭サクさん←繭クラフトの講師 						<ul style="list-style-type: none"> ・内山高重さん←注連飾り作りの講師 ・（ ）←初午だんごの講師 					
他 教 科 と の 関 連	国語：4年「かむこと力」 4年「伝言はまちがえずに」 4年「アップとルーズで伝える」 4年「4年1組から発信します」 4年「選んで伝える」 4年「話し合っよりよい意見にまとめよう」 社会：3年「わたしたちのまち みんなのまち」 3年「人びとの仕事とわたしたちの暮らし」 4年「きょう土の発てんにつくした人々」 4年「きょう土に伝わる人々の思い・願い」 理科：3年「こん虫を調べよう」 算数：4年「整理の仕方」 4年「折れ線グラフ」 図工： 道徳： 「わが家は自然観察園」 「母うずら」 「祭りだいこ」 「ふるさと祭り」											
指 導 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の意識の流れをふまえ、体験活動を課題の解決や探究活動の過程に適切に位置付ける。 ○他者と協同して課題を解決しようとする学習活動や、言語により整理・分析し、意見交換しながら自分の考えを深める活動を重視する。 ○地域の人とのふれあいを通して課題を解決する活動を取り入れ、その学習成果を発信する機会を設定することにより、地域と児童・学校との互惠性のある関係づくりに努める。 ○学習のねらいを吟味した上で評価の観点を設定し、指導と評価の一体化を図る。 											

第5学年 総合的な学習の時間 年間指導計画（75時間）

升形小学校

学年のテーマ：お米 再発見！

領域 **【食・環境】**

目標：米や米作り、米の食文化について地域の人や友達とともに進んで調べ、色々な見方考え方深めていく中で、米のよさや大切さ・地域の人の知恵と努力に気づき、自分にできることを考え実践しようとする。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	「お米 再発見！」【食・環境】（75時間）											
学習活動	<p>☒ 米作りに興味をもち、課題を設定する。 大課題1 「安全・安心でおいしいお米を作って4年生にプレゼントしよう」</p> <p>☒ 体験活動や観察活動をしたり、米や米作りについて調べたりする。 大課題2 「お米のよさを発見して、PRしよう」</p> <p>☒ 活動を通して分かったことや調べたことを誰にどのように伝えたらよいか考え、資料作りをする。</p> <p>☒ 活動を振り返り、自分にできることを考える。</p>											
指導体制	<ul style="list-style-type: none"> ・利根実業高等学校（食品文化コース） ・沼須・栄町地区水田所有者の方 ・JAの方 											
他教科との関連	<p>国語：5年「言葉の研究レポート」「お願いの手紙、お礼の手紙」「インタビュー名人になろう」「伝え合って考えよう」「工夫して発信しよう」</p> <p>社会：5年「米づくりのさかんな庄内平野」「これからの食料生産とわたしたち」「わたしたちの生活と環境」</p> <p>算数：3年「表とグラフ」 5年「割合とグラフ」</p> <p>理科：5年「植物の発芽と成長」「生命の誕生」 「花から実へ」</p> <p>家庭科：5年「作っておいしく食べよう」</p> <p>道徳：5年「わたしの心のアルプス」「チョモランマ清掃登山隊」 「もう一つの塔」 「小さな手から」</p>											
指導方法	<ul style="list-style-type: none"> ○田植え・除草・農家の人へのインタビュー・稲刈りなどの体験活動を探究活動の過程に適切に位置づける。 ○利根実業高校の先生や生徒、友達と協同して課題をよりよく解決していけるようにする。 ○情報に応じて、表やグラフ・KJ方などを活用して整理・分析する活動を行い、友達との意見交流を通して、自分の考えをもち、深められるようにする。 ○地域の人や父母に学んだことを伝え、発信できるようにし、激励を受けたり、達成感が得られる場面を設定する。 ○指導と評価の一体化を図る。 											

第6学年 総合的な学習の時間 年間指導計画（75時間）

升形小学校

学年のテーマ： 升形をよりよい町にしよう 領域 **【地域】**

目標：地域の特色や問題について進んで調べたり、様々な人々と交流し、一緒に活動したりすることを通して、人々の思いや願いに気付いたり、自分の生き方を見つめ直したりして、地域のためにできることを実践することができる。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
単元名	「やさしさの輪を広げよう」【福祉】（27時間）						「沼須人形芝居を伝えよう」【伝統】（48時間）					
ねらい	福祉活動について調べ・理解し実践する中で、自分なりに福祉の心を持ち、地域に生かす実践をしていこうとする。						地域の伝統芸能のよさやそれに関わる人たちの願いを知り、伝えていこうとする。					
学習活動	㊦ 福祉に関係するビデオを見て、問題をつかむ。 ㊧ ワークショップで、課題をつくり、興味・関心で分かれて調べる。 ㊨ お年寄りに優しい地域作りについてまとめる。 ㊩ これからの生活にどう生かすか考える。						㊦ 人形芝居の体験をして、課題をつくる。 ㊧ 人形芝居について調べたり、上手な動かかし方を調べたりする。 ㊨ 人形芝居を広める方法を考え、まとめる。 ㊩ 地域の一員としての自分の生き方を考える。					
指導体制	・ふれ合いいきいきサロン ・小出八重子さん ・市役所 ・区長さん ・デーサービスセンター						・金井竹徳さん ・あけぼの座					
他教科との関連	国語： 社会：6年「城下町について調べよう」 「江戸の文化」 理科：6年「大地のつくりと変化」 家庭科：6年「地域とのつながりを考えよう」 図工：4年「飛び出すカード」 「卒業記念制作」 道徳： 「障害者の父 中村博士」 「マザーテレサ」 「ボランティアし合う関係」 「博多人形」						6年「みんなで生きる町」 6年「自分の考えを発信しよう」 6年「今、わたしは、ぼくは」 6年「私たちの願いを実現する政治」					
指導方法	○探究活動の適切な場所に、体験活動を位置づける。 ○友達と話し合いや調査活動、地域の人々との交流を協力して行うことで、考えを深めたり、よりよい生活を創りだしたりしていけるようにする。 ○言語により分析し、まとめたり表現したりする力をつけるために、学習シートに書く・話し合うなどの活動を多く取り入れる。 ○指導と評価の一体化を図る。											

3学年 「総合的な学習の時間」 単元指導計画(実施時期4月～10月)(地域)

単元名	とびだせ！町のたんけんたい ～わたしたちの町のいいところを見つけよう～ (51時間予定)					
目標	○自分の住む地域に興味・関心を持ち、そこから自分の課題を見つけ、友達と協力して調べたり、ふれ合ったりする活動を通して地域の特色やよさに気づき、地域に愛着をもつことができる。(51時間時間予定)					
評 価 規 準						
関心・意欲・態度		思考・判断		知識・理解		
地域の特色やよさに関心を持ち、進んで調査・見学・体験をしたり、地域の特色やよさを広く知らせるために自分にできることを実践しようとしたりする。		地域の特色やよさについて、収集した情報を分類したり、自分の考えと他者の考えとを交流したりする活動を通して、根拠を明確にして地域の特色やよさに対する自分の考えをもち、それを広げたり深めたりすることができる。		地域の特色やよさを理解し、それらを守る(継承する)ために大切なことが分かる。		
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主な支援 (学習活動と意識と支援の対応)	評価 観点	評価項目(評価方法)
ふれる・つかむ	1	○沼田カルタをすする。	・地域にはいろいろと自慢できるものがあるんだな。 ・他にも何か自慢できるものはあるのかな。 ・調べてみたいな。	○沼田かるたについては、遊びながら子どもたちに疑問を投げかけるようにする。 ○地域について関心を持ち、さらに深く知りたいという気持ちを持つことができるようにする。	関	○地域について関心を持っている。(観察・学習シート)
	2	○地域について調べたいことをカードに書く。	・どんなものがあるのかな。 ・どんな人がいるのかな。 ・探しに行きたいな。 ・私たちの町には、沼田市の宝があるんだ。 ・升形小学区のいいところをたくさん見つけたいな。 ・社会科で学習した「吹き割れの滝」近くの小学校が利根東小学校なんだ。 ・升形小学区のいいところを利根東小の友達に伝えたいな。	○KJ法で分類・整理して個人→グループ全体でまとめていく。 ○初めての総合的な学習であるので、課題作りの視点は提示し、視点に沿って課題を設定していく。 ○あいあい交流について伝え、升形地区のいいところを遠くの友だちにも知ってもらえるようにする。 予想される学級全体の大課題 升形小学区のいいところを見つけて姉妹校利根東小学校の友達に伝えよう。		
	3	○学級全体の大課題を作る。	・伝統芸能を伝える人もいるね。 ・色々な果物を作っているんだね。 ・色々な施設もあるね。 ・遠い所に住んでいるいとこにも教えたいな。 ・升形オリジナルマップを作ってみよう。 ・パンフレットにしてみてもいいな。 ・ガイドブックはどうだろう。	○あいうえお交流について伝え、升形地区のいいところを遠くの友だちにも知ってもらえるようにする。 ○昇形地区のいいところを見つけて姉妹校利根東小学校の友達に伝えよう。		
追	4	○小課題を作る。	・これからどうやって調べていったらいいのかな。 ・見学に行きたいな。	○予想される小課題(①～④) ①お店のことを調べよう。 さわうら商店 千明書店 たこ八 ②人が多く集まる場所について調べよう。 デイサービス 給食センター 公民館 ③野菜や果物について調べよう。 ブルーベリー園 さくらんぼ トマト 引き売りの松井さん アスパラガス ④昔から大切にされているものについて調べよう。 沼須人形芝居 戸鹿野八幡宮 砥石神社	思	○課題作りの視点に沿って、適切な課題を考えている。(カード・発表)
	5	○調べ方を知る。	・パンフレットを集めるといいね。 ・早く地域の人に聞いてみたいな。	○初めての単元であるので、調べ方について全体で話し合ったり参考資料で確認したりする。 ○沼田市の地図やパンフレット等の資料を用意しておく。 ○地域の人々と温かいふれ合いがもてるようにインタビューするときの注意点を確認したり、声を出し練習したりする。		
究	6	○インタビューの仕方について学習する。	・近所にさわうら商店があるよ。おばさんが一人ががんばっているよ。インタビューしてみたいな。 ・どんな気持ちでお店を開いているのか聞いてみよう。 ・一番売れる商品を教えてもらいたいな。 ・千明書店は小さいけど、いろいろな物が売っているよ。よく見てきたいな。	○初めての単元であるので、調べ方について全体で話し合ったり参考資料で確認したりする。 ○沼田市の地図やパンフレット等の資料を用意しておく。 ○地域の人々と温かいふれ合いがもてるようにインタビューするときの注意点を確認したり、声を出し練習したりする。	関	○様々な調べ方やインタビューの仕方を知り、これからの活動に意欲をもっている。(観察)
	7	○お店について調べる計画を立てる。	・学校の周りを歩いてみよう。 ・出会った人にどんなお店によく行くか聞いてみよう。 ・調べて分かったことや考えたことを学習シートにまとめよう。 ・お店に見学に行つて、分かったことがあったよ。 ・いろいろな種類の商品が売っていたな。	○初めての単元であるので、事前に地域に根ざしたお店に連絡を取っておく。 ○「町のいいところ」を探して確認し、児童に質問事項を考えさせる。		
24	8	○調査活動としてお店について調べる。	・学校の周りを歩いてみよう。 ・出会った人にどんなお店によく行くか聞いてみよう。 ・調べて分かったことや考えたことを学習シートにまとめよう。 ・お店に見学に行つて、分かったことがあったよ。 ・いろいろな種類の商品が売っていたな。	○調べ方や聞き方等については、事前によく指導しておく。 ○総合的な学習が初めての児童の実態を考慮し児童の取り組みやすいお店について一斉に調査活動を行い、課題解決の方法を学びつつ調べていく。 ○調べたり、見学したりする活動は社会科の学習と関連させて、効率よく計画的に実施できるようにする。 ○見学や外部講師の希望がある場合は、可能な範囲で対応し、連絡調整をする。 ○必要に応じて、升形サポートスタッフや	技	○遠くの友達につたえることを考えながら、計画を立てている。(観察・学習シート)
	9	○調査活動としてお店について調べる。	・学校の周りを歩いてみよう。 ・出会った人にどんなお店によく行くか聞いてみよう。 ・調べて分かったことや考えたことを学習シートにまとめよう。 ・お店に見学に行つて、分かったことがあったよ。 ・いろいろな種類の商品が売っていたな。	○調べ方や聞き方等については、事前によく指導しておく。 ○総合的な学習が初めての児童の実態を考慮し児童の取り組みやすいお店について一斉に調査活動を行い、課題解決の方法を学びつつ調べていく。 ○調べたり、見学したりする活動は社会科の学習と関連させて、効率よく計画的に実施できるようにする。 ○見学や外部講師の希望がある場合は、可能な範囲で対応し、連絡調整をする。 ○必要に応じて、升形サポートスタッフや		

		<ul style="list-style-type: none"> ・家族で協力して、書店をやっていたんだな。 ・親切にいろいろなことを教えてもらって、よかったな。 ・色々なことが分かってきたな。整理してまとめてみよう。 ・「いろいろな種類の商品がある」は、商品のことだから、この仲間に入るな。 ・これとこれは、お店の人が思っていることだから同じ仲間になるな。 	<p>保護者等の外部講師を招いて、指導してもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気づいたことやわかったことを学習シートに記入させ、収集させておく。 ○デジタルカメラで写真に撮らせる。 ○見出しメモしてきた学習シートを活用し、調べてきたことをグループごとに整理する。KJ法を用いて整理していくが、初めての方法なため仕方について確認しながらすすめ、小見出しがつけられるようにする。 予想される小見出し <ul style="list-style-type: none"> ・商品について ・お店を開いたわけ ・お店の人の工夫 ・お店をしている人の思い 	思	○調べたことを分類・整理したり課題解決のために必要な情報を取り出したりしている。 (観察・学習シート・模造紙)
	12 13 14	<p>○お店について調べたことを分類・整理する。</p> <p>分類の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の内容や数 ・お店の人の工夫 ・お店の人の思い 			
	15	<ul style="list-style-type: none"> ・私たちの町には自慢できるお店があるんだな。 ・小さなお店でもがんばっていることがわかった。また、来たいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の活動の振り返りと、他のグループとの交流の双方に活用できるよう、模造紙等に大きくはつきりまとめさせる。 予想されるわたしたちの町のいいところ <ul style="list-style-type: none"> ・升形小学区には、お客さんのことを思っている親切なお店があるよ。 ・升形小学区には、小さいけれど地域のために頑張っているお店があるよ。 ・升形小学区には、何十年前からやっているお店があるよ。 	思	○分類・整理した情報から、自分の町のいいところを理由とともに考えている。 (観察・発言)
追究する	16	<p>○人の集まる場所について調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスではどんなことをしているのだろう。 ・利根実業高校のお兄さん、お姉さんに去年、野菜の植え方について教えてもらったな。もっと利根実について知りたいな。 ・給食センターで働く人にどんな気持ちで給食を作っているのかを聞いてみよう。 ・公民館は地域にどのくらいあって、どんなことに使われているのだろう。 ・デイサービスで働く人に仕事をしていて、一番うれしいときはいつか聞いてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたい場所をその理由とともに考えさせる。また、調査活動が2回目となるため、児童がより主体的に活動できるようにする。 ○大課題を想起させながら、そこに関わっている人々の仕事の内容や思いについてインタビューできるように質問事項を考えさせる。 	関	○遠くの友達につたえることを考えながら、計画を立てている。 (観察・学習シート)
	17 18	<p>○人の集まる場所について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デイサービスで、お年寄りがみんな楽しそうにおしゃべりしていたよ。 ・給食センターの人は、私たちのことを考えて、いろいろがんばってくれたんだな。 ・公民館は昔から地域の人たちに大切にされてきたんだ。 ・利根実のお兄さん、お姉さんは野菜についていろいろ知っていてすごいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の課題によっては、方面が複数になる場合が予想されるので、見学場所への連絡や引率者との事前の打ち合わせなどを計画的に進める。 	技	○進んで情報を収集している。 (観察・学習シート)
	19	<p>○人のあつまる場所について調べたことを分類・整理する。</p> <p>分類の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の内容 ・そこで働く人の思い ・そこに关わる人の思い 	<ul style="list-style-type: none"> ○見出しメモしてきた学習シートを活用し、調べてきたことをグループごとに整理する。整理の仕方としては、KJ法を用いて、小見出しをつけるようにする。 予想される小見出し <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が使う。 ・楽しい行事が行われる。 ・地域を大切に思っている人 	思	○調べたことを分類・整理したり課題解決のために必要な情報を取り出したりしている。 (観察・学習シート・模造紙)
	20	<p>○人のあつまる場所について分かったことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りが楽しそうにしていたよ。 ・地域には、みんなで使える便利なお店があるんだな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分達の活動の振り返りと、他のグループとの交流の双方に活用できるよう、模造紙等に大きくはつきりまとめさせる。 予想されるわたしたちの町のいいところ <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人がただで使える。 ・たくさんの人が楽しそうにしている。 ・地域のことを考えてがんばっている。 ・升形小学区には、たくさんの人が無料で楽しく過ごせる場所がある。 ・人が集まる場所では、地域のことを考えてがんばって働いている人がたくさんいる。 	思	○分類・整理した情報から、自分の町のいいところを理由とともに考えている。 (観察・発言)
	21	<p>○農産物について調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしい農作物を作るまでの苦労を知りたいな。 ・どんな思いで、農作物を作っているんだろう。 ・仕事をしていて、一番うれしいときはどんなときだろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○調べたい農産物をその理由とともに考えさせ、課題解決に向けての体験活動を充実させていく。 ○大課題を想起させながら、そこに関わっている人々の仕事の内容や思いについてインタビューできるように質問事項を考えさせる。 	関	○遠くの友達につたえることを考えながら、計画を立てている。 (観察・学習シート)

追究する	22	○農産物について調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・こんなにたくさんの野菜や果物がとれるなんて初めて知った。 ・こんなにおいしい果物がとれるなんて、すごいな。 ・トマトやキュウリはたくさんの農家が作っているんだな。 	<p>○児童の課題によっては、方面が複数になる場合が予想されるので、見学場所への連絡や引率者との事前の打ち合わせなどを計画的に進める。</p> <p>○児童の疑問や思いを大切にし、課題解決に向けて支援していくようにする。</p>	技	○進んで情報を収集している。(観察・学習シート)
	23	○農産物について調べたことを分類・整理する。	<p>分類の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの種類の野菜 ・おいしい野菜や果物 ・農家の人々の思い 	○見学しメモしてきた学習シートを活用し、調べてきたことをグループごとに整理する。整理の仕方としては、KJ法を用いるようにする。	思	○調べたことを分類・整理したり課題解決のために必要な情報を取り出したりしている。(観察・学習シート・模造紙)
	24	○農産物について分かったことを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・升形地区では、本当にたくさん農作物がとれるんだな。 ・沼須町はたくさんのビニールハウスが建っていたな。 ・おいしい果物がとれるまでには色々なふうをしているんだな。 ・いろいろな野菜の名前があるな。これらは、野菜の種類のことだから同じ仲間に入れよう。 ・これとこれは農家の人が思っていることだね。 ・これとこれはおいしさのひみつだよ。 	○KJ法を用いて、整理したものに小見出しをつけながら、わたしたちの町のいいところについて考えていく。考えた理由についてもグループで話し合いがもてるようにする。	思	○分類・整理した情報から、自分の町のいいところを理由とともに考えている。(観察・発言)
	25	○昔から大切にされているものについて調べる計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・大変な農作業をがんばっているんだな。 ・いい土地でとれた野菜はおいしんだな。 ・農家の人は、いろいろな工夫をして仕事をし、おいしい作物がとれるようにがんばっているんだな。 	<p>予想される小見出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいいっぱい ・遠くの人とつながっている。 ・がんばる農家の人 ・仕事が好き <p>予想されるわたしたちの町のいいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りも元気で働き者 ・升形小学区は、土地がいいからおいしい野菜がたくさんとれて、新鮮でおいしい物が食べられるよ。 ・升形小学区の農家の人は、元気で働き者だし、おいしい作物がとれるように、いろいろな工夫をしているよ。 	関	○遠くの友達につたえることを考えながら、計画を立てている。(観察・学習シート)
	26	○インターネットの使い方について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・沼須人形芝居は、何年前からしているのだろう。 ・升形地区には3つの神社があるけど、どうしてそんなにあるのだろう。 ・一切経はどうやってできたのだろう。 ・インターネットののっているなんて升形ってすごい歴史があるんだな。 	○調べたいものをその理由とともに考えさせ、課題解決に向けての体験活動を充実させていく。	関	○歴史のある戸鹿野八幡宮や沼須人形芝居などについて沼田市のHPに載っているのので、インターネットも活動できるようにする。
	27	○昔から大切にされているものについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・戸鹿野八幡宮はそんなに古い歴史があるなんて驚いたな。 ・一切経は今もお祭りで大切にされているんだな。 ・沼須人形芝居は地域の人々の気持ちが一つになって引き継がれてきたんだな。 	○調べたい場所をその理由とともに考えさせ、課題解決に向けての体験活動を充実させていく。	技	○進んで情報を収集している。(観察・学習シート)
	28	○昔から大切にされているものについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・升形小学区は古くて歴史のある物がたくさんある。 ・お年寄りって、古い物をよく知っていてすごいな。 ・昔の人が神社を建てたわけがわかった。 ・これとこれは、神社が造られた理由だね。 ・これは、古い物を守っている人たちが思っていることだよ。 	○見学しメモしてきた学習シートを活用し、調べてきたことをグループごとに整理する。整理の仕方としては、KJ法を用いるようにする。	思	○調べたことを分類・整理したり課題解決のために必要な情報を取り出したりしている。(観察・学習シート・模造紙)
	29	○昔から大切にされているものについて調べる。	<p>分類の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの神社が造られたわけ ・沼須人形芝居ができた歴史 ・歴史ある古い物を守っている人たちの思い 	<p>予想される小見出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古い物がたくさん ・できたわけがある。 ・地域の人々が大切に思っているもの <p>予想されるわたしたちの町のいいところ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・升形小学区は古い物を大切にしてきた。 ・升形小学区には、古くて歴史のある神社がたくさん残っているよ。 ・升形小学区には、古いものを守るために 	思	○分類・整理した情報から、自分の町のいいところを理由とともに考えている。(観察・発言)
30	○昔から大切にされているものについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・古い物でも地域の人々は大切に守ってきたんだな。 ・守るために地域の人々は助け合い、協力してきたんだな。 	○KJ法を用いて、整理したものに小見出しをつけながら、わたしたちの町のいいところについて考えていく。小見出しがついた理由について、まず個人で考え、次にグループで話し合いがもてるようにする。	思	○分類・整理した情報から、自分の町のいいところを理由とともに考えている。(観察・発言)	
31	○昔から大切にされているものについて調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・古い物がたくさん ・できたわけがある。 ・地域の人々が大切に思っているもの ・予想されるわたしたちの町のいいところ ・升形小学区は古い物を大切にしてきた。 ・升形小学区には、古くて歴史のある神社がたくさん残っているよ。 ・升形小学区には、古いものを守るために 				
32	○昔から大切にされているものについて調べる。					

			協力し合って頑張っている人がいるんだ。			
	33 34 35 36 37 38	○グループごとに大課題に沿ったマップ、パンフレット、ガイドブック、ガイドブックなどを作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・わかったことをマップ、パンフレット、ガイドブックに表そう。 ・どんなふうにかいたら、みんなに分かりやすいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○収集した資料や写真を整理させ、活用させる。 ○わかりやすく、楽しいマップやパンフレット、ガイドブックなどの作り方についてアドバイスする。 	知	○収集した情報をもとに自分なりに整理し、わかったことなど結論づけている。(発表・学習シート)
	39 40	○発表の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな声でわかりやすく伝えよう。 			
ま と め る	41 42 43 44	○発表を聞き合い、さらに詳しく調べたいことを考え、調べる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のグループも、色々なことが分かったんだな。 ・まだ、私たちの町のいいところはないかな。 ・こんなことも聞きたかったな。また、インタビューしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町のよいところを伝えるためには、足りていないところはないか考えさせ、より分かりやすいまとめができるようにする。 ○児童が気づいていない部分については、教師側からの言葉かけや発問、他の児童からの質問等を通して意識を向けさせていく。 ○詳しく調べることは焦点化し、目的が明確な活動になるようにする。 ○さらに詳しく調べるための方法についても考えさせていく。 	思 技	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と考えを交流させながら、よりよく課題を解決するためには、さらに何を調べたらよいか考えている。(観察・発言・学習カード) ○町のよいところについてさらに調べたことを友達に分かりやすいように付け足しながらまとめている。(観察・学習シート)
	45 46 47	○さらに詳しく調べたことを付け足していく。				
	48 49	○発表会をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のグループも、色々なことがわかったんだな。 ・みんなに聞いてもらえてうれしいな。 ・感想も聞けてうれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が伝えたい相手については、事前に可能な限り、参加を呼びかけておく。 ○発表後に聞き手から感想を言ってもらい、双方向性のある発表会になるようにする。 ○発表の様子をビデオで撮影し、子どもたちが作ったマップやパンフレット、ガイドブックなどを利根東小学校に送って、感想などの返信をもらえるようにしておく。 	関 ・ 技	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の発表した内容に積極的に関わろうとしている。 ○伝えたいことが明確に伝わるような話し方や資料の提示の仕方をしている。(観察・発表)
生 か す ・ 広 げ る	50 51	○活動を振り返り、自分にできることを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことを調べてきたな。お世話になった人もたくさんいたな。みんな楽しかったな。 ・地域でとれた野菜を食べたいな。 ・沼須人形芝居を見に行ってみよう。 ・お年寄りに会ったら、挨拶しよう。 ・もっと詳しく調べてみたいな。 ・利根東小の友達に升形小学区のいいところを伝えられたよ。利根東小の友達が「わたしたちの地域のいいところ」をわかってくれたみたいだな。もっと「いいところ」をみつけて、利根東小の友達やいろいろな人に伝えて、地域のよさをたくさんの人にわかってもらいたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの活動の様子を写真やポートフォリオで振り返らせたり、利根東小の友達からの感想を読ませたりすることにより考えを深めさせる。 ○それぞれの考えを自分の言葉で書かせる。 	思	○これまでに活動したことを、今後の自分の生活と結びつけて考えている。(発表・学習シート)

3 学年「総合的な学習の時間」単元指導計画（実施時期11月～3月）【地域（食）】

単元名	ふるさとのこんにやくたんけんたい (44時間予定)					
目標	○地域の農産物について調べたいことを課題としてもち、進んで課題解決に取り組むことを通して、農産物や作る人々のよさに気づき、地域に愛着を感じ、大切にし、自分なりにできることをしていこうとする。					
評 価 規 準						
関心・意欲・態度		思考・判断		技能・表現	知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> ふるさとの農産物に関心をもち、進んで調べたり、家庭や地域に広めようとしたりする。 地域を大切にしていこうという気持ちをもち、自分ができることをしていこうとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 体験・調査・見学・友だちとの交流などの活動から、課題やよりよい活動について考えたり、地域の農産物や人々のよさについて自分なりの考えをもったりすることができる。 教科で学んだ知識や技能を生かして学習を進めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> 課題解決のために適切な方法を選び、調べたことを分かりやすくまとめたり、伝えたりすることができる。 地域の人と積極的に関わることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の農産物や作る人のよさが分かり、自分たちの生活に生かしていくことの大切さを理解する。 	
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主な支援	評価観点	評価項目（評価方法）
ふれる・つかむ	3	<ul style="list-style-type: none"> ○畑で育てたこんにやくの様子についてふり返り話し合う。 ○こんにやくを使った料理を味わう。 ○学校の畑のこんにやく掘りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の畑のこんにやくはどうかっているかな？ ・枯れているよ。大丈夫かな？ ・こんにやくはおいしいね。どうやって作るのかな。作ってみたい。 ・学校の畑のこんにやくを掘ってみよう。 ・大変だな。疲れたよ。 ・たくさん掘れたね。 ・この芋から本当にこんにやくができるのかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○5月に植えたこんにやくの様子を話し合うことによりこんにやくに興味関心をもたせるとともに活動への意欲付けをする。 ○実際にこんにやくを掘る体験をすることで課題につながるようにする。 	関	<ul style="list-style-type: none"> ○こんにやくに興味を持ち、活動に意欲的である。（発言・学習シート） ○体験を通して考えた事を自分の言葉で表している。（行動・学習シート）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○農家へ行ってこんにやく畑やこんにやく掘りの様子を見学する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・角田さんの畑にも行ってみよう。 ・広い畑だね。 ・たくさんの人が働いているね。 ・おおきな芋だね。 ・たくさんの芋だね。 ・学校のいもとは大きさが違うね。 ・たくさんのこんにやくをどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○こんにやくに関する話を聞かせてもらったり体験させてもらったりできるよう農家の方と事前連絡を取り合う。 ○学校のこんにやくいもと角田さんの畑のこんにやくいもの違いに気付かせ疑問を持たせることで課題につなげるようにさせる。 	関 思	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して色々な視点から、疑問や知りたいことをもっている。 ○興味をもって見学したりメモをとったりしている。（行動観察・学習シート）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して発見したことや疑問に思ったこと・調べたいことなどを付箋カードに書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発見したことや調べたいことを出し合おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○〈社会〉「りんご園の仕事」の見学計画を参考に見させて、調べることの手がかりとさせる。 	思	<ul style="list-style-type: none"> ○体験を通して色々な視点から 学習課題を見つけている。（学習シート・付箋カード）
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに付箋カードを分類・整理し小見出しをつける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小見出しを付けて整理してみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークショップ型を取り入れ付箋に書いたものを出し合い、分類、まとめをさせていく。（KJ法） ○〈国語〉『「分類」ということ』を活用させる。 	思	<ul style="list-style-type: none"> ○教科の既習事項を想起して、それを転移・活用している。（付箋カード・発言） ○自分がカードに書いた気づきや疑問について理由づけをしながら、友達の見解との共通点や相違点に気づき、課題作りについて考えている。（発言）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで分類・整理したものをもとに課題作りの視点に沿って話し合い、課題をはっきりさせる。 課題作りの視点 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content;"> <ul style="list-style-type: none"> ・協力し合う ・体験してみよう ・調べてみよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・調べてみたいこと（課題）をみんなで考えよう。 ・どうやって育てるのかな。 ・どんな工夫や努力をしているのかな。 ・こんにやくに栄養はあるのかな。 ・どんな料理があるのかな。 ・どこでどのように売られるのかな。 ・どんな歴史があるのかな。 ・どうしてこの地域で作られるのかな。 ・生子ってとは何かな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題作りの視点を提示し考えさせるようにする。 ○体験時の写真を提示したり、学習シートを読み直させたりして、体験を振り返りながら発表ができるように支援する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">— 学級の課題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにやくいもやその育て方のひみつを調べよう。 ・こんにやくいもを作る人の工夫や努力について調べよう。 </div>	思	<ul style="list-style-type: none"> ○視点に沿って話し合いながら課題作りについて考えている。（発表・カード）
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ課題の人とグループを組み、調べる計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる計画を立てよう。 ・どうやって調べたらいいかな。 ・インタビューをしてみよう。 ・見学に行ってみよう。 ・ぶるぶるこんにやくを作ってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題別に分担して、調べる計画を立てさせる。 ○前単元までの調べ方や資料の集め方等について振り返らせ、どのようにして調べたらよいかを考えさせ、見直しをもって活動できるようにする。 	思	<ul style="list-style-type: none"> ○課題追求のための計画を考えている。（学習シート・発言）
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○課題について自分たちで決めた方法で調べる。 ①資料などで調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本で調べよう。 ・インターネットで調べよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に分かりやすいこんにやくいもの本を紹介する。 ○自主的に家の人や近所の農家の人にも聞いたりできるようにする。 ○〈国語〉「インタビュー」の仕方を参考 	思	<ul style="list-style-type: none"> ○必要な資料を収集・選択している。（行動観察・学習シート）

追 求 す る 21	3	②農家やこんにやく工場・行っ て見学・調査をする。	・角田さんに聞いてみよう。 ・地域の人にも聞いてみよう。 ・こんにやく工場へ行ってみよう。	にするよう助言する。 ○見学・調査用の学習カードを使用して、大切なことだけをメモできるようにする。 また、写真もとれるようにする。	思	○地域の人に礼儀正しく接したり、質問をしたりしている。 (行動観察・学習シート)
	3	③こんにやく作りをする。	・こんにやくを作ってみよう。 ・どうやって作るのかな。 ・調べてみよう。 ・作り方を教えてもらおう。 ・こうやって作るんだね。 ・大変だね。	○作り方を調べた班に発表してもらい、計画を立てさせる。 ○安全に気をつけて、興味をもたせながら活動させる。	思 技	○課題に沿って、友だちと協力しながら進んで調べている ○体験を通して考えた事を自分の言葉で表している。 (行動・学習シート)
	4	④こんにやくを使った料理を作り食べる。 ・班ごとに料理の計画を立てる。 ・材料や作り方を調べる。 ・友だちと協力して作り試食する。	・こんにやくを使った料理を作ろう。 ・どんな料理があるのかな。 ・調べてみよう。 ・いろんな料理があるんだね。 ・おいしい料理ができたね。	○無理なく作れそうな料理を選ばせる。 ○算数「かけ算」「わり算」の計算を使って、材料の分量を決めていく。 ○スムーズに活動ができるように、栄養士や保護者に協力してもらおう。 ○感想を書いて、まとめさせる。	思 技 思	○課題追求のための計画を考えている。(観察・学習シート) ○課題に沿って、友だちと協力しながら活動している (観察) ○体験を通して考えた事を自分の言葉で表している。 (学習シート)
	1	○体験した内容や調べたことを振り返ってまとめる。	・色々なことがわかったね。 ・まとめてみよう。	○班で分担をして、これまで調べたことを整理させ、写真等も準備させる。	思 技	○必要な資料を収集・選択している。(観察)
ま と め る	2	○調べたことを伝え合い、相互交流をし、見学の視点を考え直す。	・調べたことを友達同士互いに伝え合い、意見交流をしよう。 ・こんなことも調べてみる といいね。	○質問やさらに調査した方がよい点・よさが感じられる点などを記入し合い、相互評価できるようにする。	思	○活動を見直し、よりよい活動を考えている。 (学習シート・発言)
	4	○新たな視点をもって調査をする。	・もう一度調べてみよう。	○農家の人に学校へ来ていただき、児童の質問に答えていただく。また、アドバイスもしていただく。	思 技	○地域の人に礼儀正しく接したり、質問をしたりしている。 (観察) ○話を聞いて、気付いたこと分かったことを自分の言葉で考えて書いている。 (学習シート)
	1	○これまでの学習を振り返り、どんな方法で誰に発表したらよいか考える。	・何をどうやって伝えようか。 ・お世話になった人や家の人に向けて発表会をしよう。 ・地域、こんにやく、それを作る人のよさについて伝えよう。 ・感謝の気持ちを伝えよう。	○学習シートに書かれた感想を読ませたり関連する写真を提示したりしながら、これまでの学習を振り返らせ、農産物や地域のよさを伝えたいという思いをもたせるようにさせたい。 ○前単元でのまとめ方を思い起こさせたり、昨年の3年生の作品を提示したりして一人一人が、興味・特性に合った表現方法を選びまとめていくことができるようにする。	思 知	○これまでの学習を振り返り、農産物や地域のよさを伝えたいという思いをもつことができる。 (学習シート・発言) ○よりよい表現方法について考えている。 (観察・学習シート)
	2	○地域の農産物や作る人のよさについて考える。	・地域では大きくておいしいこんにやくができることがわかったね。 ・角田さんやこんにやくの作り方を教えてくれたおばあさんは優しかったね。 ・こんにやくを作るのは大変だね。	○ポートフォリオや写真を見て振り返らせ、農産物や地域のよさを考えさせていく。次に、全体で発表させながらまとめていく。	思	○農産物や地域のよさを、学習シートの記述や友だちの発表をもとに考えている。(学習シート・発言)
生 か す ・ 広 げ る 3	5	○調べたことを様々な方法でまとめる。	・調べたことを色々な方法でまとめよう。 ・どんな方法がいいかな。 ・紙芝居にしよう。 ・クイズにしよう。 ・ペープサートにしよう。	○国語「食べ物はかせになろう」や社会「消防のしくみ」の調べたことのまとめ方を提示し、分かりやすい表現方法が考えられるようにする。	思 技	○表現方法を工夫して、より分かりやすくまとめている。(観察・発表資料) ○教科の既習事項を想起して、それを転移・活用している。 ○発表練習を意欲的にしている。(観察)
	2	○発表する。	・発表会を開こう。 ・他のグループの人の発表を聞こう。 ・色々なことがわかったね。	○お世話になった方や父母に向けて発表する。 ○感謝の気持ちも伝えるようにする。	技	○調べたことを分かりやすく伝えていく。(観察) ○他のグループのよさを進んで見つけていく。 (観察・学習シート)
	1	○活動を振り返る。	・おいしいこんにやくがこれからも作られていくといいね。 ・野菜を残さず食べよう。 ・感謝をして食べよう。	○地域のよさや地域の一員として自分のできることなど、考えを深めたことについてまとめる。	関 知	○地域の人の願いや思いを理解し、自分の生活の中で、できることを実践していこうとする。 (学習シート)

4 学年「総合的な学習の時間」単元指導計画（実施時期 4月～3月） 【地域（産業・伝統）】

単元名	なるほど！季節の行事（カイコが教えてくれるふるさとの昔→5.6・もっと知りたい！季節の行事→4.4）（100時間予定）					
目標	○季節の行事について調べたり体験したりすることを通して、ふるさとの産業や人々の生活との関わりについて知り、地域 のよさや季節の行事の大切さに気づき、地域の一員として自分にできることを考え実践しようとする。					
評 価 規 準						
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
季節の行事と地域の歴史や生活との関わりに関心を持ち、進んで課題を解決したり自分にできることを考え実践したりしようとする。	体験や調べたことをもとに地域のよさや季節の行事の大切さに気づき、互いの意見を交流させながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	課題を解決するために適切な方法を選んだり、相手や目的に応じたまとめ方や伝え方を工夫したりしている。	季節の行事と地域の歴史や生活との関わりを知り、季節の行事を伝承していくことの大切さを理解することができる。			
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主な支援	評価観点	評価項目（評価方法）
ふ れ る ・ つ か む ・ 21	4	○初午を知り、養蚕に関する行事であることに気づく。 ○繭や生糸、絹織物にふれる。 ○なぜ、初午だんごを作ったり飾ったりしていたのか考える。 ○地域に残っている養蚕に関わるものを知る。	・見たことがあるな。 ・だんごは、何かの形を真似したものなんだな。何だろう。繭かな。 ・生糸や絹織物が繭と関係していたなんて知らなかった。きれいだな。 ・繭がたくさんとれるようにお願いするために、だんごを作った飾ったんじゃないかな。 ・ぼく達の地域でたくさんカイコを飼っていたなんて知らなかったよ。 ・養蚕とどんな関係があるのかな。	○昨年度の4年生が作った初午だんごの写真を提示する。 ○だんごの形が何を模しているか予想させ、繭の形であることに気づかせる。 ○感じたことを書かせたり発表させたりすることにより、繭や生糸、絹織物の美しさを共有できるようにする。 ○よい繭がたくさんとれるようにとの願いにもとづくことに気づかせる。 ○自分達の地域でも、かつては養蚕が盛んであったことに気づく児童もいるであろうが、教師からも、当時の写真等を提示しながら話をする。 ○桑畑、養蚕で使用した道具（於：校内にある郷土資料室）、東源寺稲荷神社（戸鹿野町）を取り上げる。	関	○初午や養蚕について関心をもっている。（観察・発言・学習カード）
	2	○実際にカイコを飼ってみることにし、意見を出し合う。	・飼ってみたいな。 ・カイコにさわられるか心配だな。 ・去年の4年生も、段々カイコのことが好きになっていったんだな。 ・昔、升形地区の人達が飼っていたんだから、自分達も飼ってみたいな。	○実際に飼ってみたいという意見、躊躇している意見のどちらも理由と共に発表させ、尊重する。 ○これまでの学習（自分達の地域では養蚕が盛んだったこと、2月には初午だんごを作る計画があること）を振り返らせたり、昨年度の児童の感想を紹介したりすることにより、実際にカイコを飼うことの価値やよさに気づかせていく。	思	○互いの考えを交流させながら、より深まりのある活動について考えている。（観察・発言・学習カード）
	2	○カイコの飼育の仕方を知る。	・カイコは桑の葉を食べるんだな。温度には気を付けて育てよう。	○本やインターネットで調べさせ、えさは桑の葉であること、温度に留意して育てる必要があることを確認する。	知	○カイコの飼育の仕方を理解している。（観察・学習カード）
	5	○桑の木探しに行く。 ○桑の木マップに結果をまとめる。 ○マップにまとめた結果を発表し合う。	・ここにも桑畑があったなんて気づかなかった。 ・ずいぶんたくさんあるな。他の町は、どうなんだろう。 ・こんなに色々な場所にあったんだ。 ・どちらの町も、たくさん残っているんだな。 ・○○さんの家は、ぼくの家近所だな。お願いすれば、桑の葉をもらえるかもしれない。	○桑の木（桑畑）がある場所をワークシートに記録させながら校区を歩かせる。 ○栄町方面と、戸鹿野町方面に分かれて活動させる。 ○マップに書き込ませることにより、桑の木がたくさん残っていることを実感させる。 ○どちらの町も、桑の木がたくさん残っていることを確認する。 ○実際に桑の葉がもらえそうな場所があれば、持ち主の方に交渉していく。（予め教師が話をしておき、児童がお願いに行くことも視野に入れておく。）	関・技	○桑の木探しに意欲的に取り組んでいる。（観察・学習カード） ○桑の木の分布状況を分かりやすく地図にまとめている。（観察・マップ）
	3	○東源寺稲荷神社を見学する。 ○気づいたことを発表し合う。	・東源寺が、カイコとどんな関係があるのかな。 ・石に刻んである字はどんな意味なのか。狐の置物がたくさんあって驚いた。	○戸鹿野町にある養蚕信仰に関わりの深い稲荷神社を見学する。 ○石経塔、白狐の置物など、養蚕信仰とつながりが深いものに注目できるように支援する。	関	○東源寺の見学に意欲的に取り組んでいる。（観察・学習カード）
	3	○カイコについて調べたいことをカードに書く。 ○よりよい課題を作るための視点について話し合う。 ○大課題、小課題を設定する。	・カイコが成長する様子を調べたい。 ・私達の地域でカイコをたくさん飼っていたことについて調べたい。 ・なぜががたくさんありそうな課題がいいな。 ・実際に体験できる課題がいいな。 ・似ている内容のカードは、1つにまとめよう。 ・まとめたカードに、どんな題名をつけたらいいかな。 ・みんなで協力して、よい課題ができたな。	○調べたいこととその理由をカードに書かせる。 ○児童に考えを発表させながら、ねらいの達成につながり、追究しがいのある課題作りへと方向付けをしていく。 →「課題作りの視点」の設定 ○KJ法の活用、さらに課題作りの視点との照合をしながら、グループ→全体という段階を踏んでまとめていく。 大課題〈例〉 カイコや養蚕について調べよう 小課題〈例〉 ・カイコの成長 ・養蚕がさかんだ私達の地域	思	○「課題作りの視点」に沿ってよりよい課題について考え、適切な課題を設定している。（観察・発言・付箋）
	2	○小課題ごとに、調べる計画を立てる。	・昔、カイコを飼っていた人に会ってみたいな。 ・学校の図書館や、市立図書館で本をさがしてみよう。 ・家の人に聞いてみよう。	○調べる方法、必要なことやものについて、具体的に挙げさせる。 ○（家庭との連携を図りながら）自分達で準備できることについては自主的に取り組めるように声をかける。	思	○課題を追究するために適切な方法を具体的に考えている。（観察・発言・学習カード）
	8	○課題に沿って調べる。 ・カイコの成長（飼育活動を通して） ・養蚕がさかんだ升形地区 ・カイコを飼っていた人の思い	・カイコは、どんどん大きくなっていく。元気に育っている繭を作ってほしいな。 ・カイコを飼っていた人は、色々な工夫や努力をしていたんだな。 ・私達の地域の人は、カイコを大切にしていたんだな。	○カイコの飼育はグループで取り組ませ、観察カードに体長、体重、気づいたことなどを記録させる。 ○地域の養蚕、カイコを飼っていた人の思いについては、資料の他に実際に飼育に携わっていた人の話を聞く活動を取り入れる。	技	○目的に応じて資料を集め、そこから必要な情報を探し出しながら課題について調べている。（観察・学習カード）
	1	○できた繭をどう	・繭で何か記念になる物を	○繭のままにしておくという意見、カイコ	関	○できた繭をどうするか

究	するか、意見を出し合う。	作りたい。 ・蛾にしてあげないとかわいそうだな。 ・カイコ蛾は飛び回れないんだな。 ・卵を産んでも、育てることはとっても難しいんだな。 ・繭のままとおくのがいいのかもしれないな。	蛾にするという意見のどちらも理由と共に発表させ、尊重する。 ○カイコ蛾は自由に飛び回れないこと、カイコ蛾の卵を育てることは、養蚕を専門的に行う人でも難しいことなどを伝える。 — 予想される反応 — ・繭のままにしておく。 ・繭で記念になる物を作る。		について積極的に考えている。 (観察・発言・学習カード)
す	2 ○調べたことを整理し、分かったことをまとめる。	・色々なことが分かってきたな。整理して、すっきりまとめよう。	○自分達の活動の振り返りと、他のグループとの交流の双方に活用できるよう、模造紙等に大きくはっきりまとめさせる。	技	○調べたことを整理したり課題解決のために必要な情報を取り出ししている。 (観察・模造紙)
る	2 ○分かったことを知らせ合う。 ○さらに詳しく調べたいことを考える。	・友達のグループも、色々なことが分かったんだな。 ・カイコが繭になるところをもっと詳しく知りたいな。 ・蚕を飼っていた人達の気持ちを、もっと詳しく知りたいな。 ・今は蚕をほとんど飼っていないのはなぜかな。 ・カイコのお話をしてくれた人に、もう一度会いたいな。 ・詳しく書いてある本があるか確かめてみよう。	○分かったことを交流させることにより、活動の見直しにつなげていく。 ○児童が気づいていない部分については、教師側からの言葉かけや発問、他の児童からの質問等を通して意識を向けさせていく。 ○くわしく調べることは焦点化し、目的が明確な活動になるようにする。 ○さらにくわしく調べるための方法についても考えさせていく。	思	○友達と考えを交流させながら、よりよく課題を解決するためには、さらに何を調べたらよいか考えている。 (観察・発言・学習カード)
・	2 ○さらに詳しく調べる。	・色々なことが分かってきてよかったな。	○目的が明確な活動になっているかどうか留意しながら児童の様子を観察し、適宜助言を行う。	技	○必要な資料を集め、知りたいことを探し出しながら調べている。 (観察・学習カード)
18	3 ○繭クラフトの製作をする。	・早く作ってみたいな。 ・どれも繭でできているなんて驚いた。 ・繭が小さいから、気を付けながら作ろう。 ・完成した。うれしいな。 ・繭クラフトの名人さんも、カイコを大切に、一生懸命育てていたんだな。	○外部講師を招いて指導していただく。講師の方の作品を事前に教室に展示しておく、繭クラフトの繊細さや美しさにふれさせておく。 ○製作にあたっては、鋭利な道具を使いながらの細かい手作業であるため、安全面に十分留意させる。 ○最後に、カイコや繭クラフトのよさについて、講師の方からお話ししていただく。	関	○繭クラフトの製作に意欲的に取り組んでいる。 ○講師の方と積極的にコミュニケーションをとっている。 (観察・作品)
ま	2 ○これまで調べてきたことから、誰に何を伝えられるかを考える。	・知らせたい人がたくさんいるな。 ・カイコの学習でお世話になった人にも伝えたいな。 ・今まで学習したことをよく思い出してみよう。 ・知らせたいことがたくさんあるぞ。	○相手意識や目的意識が明確な活動になるように留意する。 — 予想される反応 — (誰に) ・両親 ・祖父母 ・升形地区で養蚕をしていた(る)人 ・隣のクラスの友達 ・先生方 (何を) ・カイコの成長 ・養蚕がさかんだった升形地区 ・カイコを飼っていた人の思い・願い ・初午という行事について ・升形地区で養蚕がさかんでなくなった理由 ・繭の魅力(絹製品、繭クラフト) ・カイコや養蚕について調べて、自分が感じたこと	思	○これまでの学習を振り返り、調べたことを伝える相手や目的について考えている。 (観察・発言・学習カード)
と	1 ○伝える方法について考える。	・みんなに、分かりやすく伝えられる方法がいいな。 ・壁新聞なら、来られない人にも後で見てもらえるし、記録として残すこともできるな。発表を聞いている人が、もう一度見直すこともできそうだな。 ・カイコが成長する様子を、紙芝居でまとめてみたいな。	○相手や目的を再確認し、適切だと思う方法とその理由を発表させる。 ○大勢の人に分かりやすく伝えられる方法、当日来られない人にも後日伝えられる方法、自分達の活動が記録として残せる方法などを視点にしながら、伝える方法を絞り込ませていく。 — 予想される反応 — ・壁新聞にまとめてみよう。 ・紙芝居もできそうだな。 ・壁新聞や紙芝居を使って発表会をしよう。	思	○相手や目的に応じて適切に伝える方法について考えている。 (観察・発言)
め	7 ○発表の資料作りをする。	・分かりやすくまとめるためには、調べたことから選び出すことが大切なんだな。 ・表やグラフを使うと分かりやすくなることもあるんだな。	○国語科の教科書から「選んで伝える」を参照させ、伝えたいことが明確な資料作りを意識させる。 ○算数科の「整理の仕方」で学習したことを必要に応じて取り入れさせる。 ○内容が相手にはっきりと伝わるような発表の仕方になるように、声の大きさや話す速さに留意させる。	技	○教科の学習を生かしながら、伝えたいことの中心がはっきりとしたまとめの資料作りをしている。 (観察・まとめの資料)
・	1 ○発表の練習をする。	・大きな声で、はっきり話すことが大事なんだな。			
11	2 ○発表会をする。	・みんなに聞いてもらえてうれしいな。 ・感想も聞けてうれしいな。	○児童が伝えたい相手については、事前に可能な限り、参加を呼びかけておく。 ○発表後に聞き手から感想を言ってもらい、双方向性のある発表会になるようにする。	関・技	○友達の発表した内容に積極的に関わろうとしている。 ○伝えたいことが明確に伝わるような話し方や資料の提示の仕方をしている。 (観察・発表)
生	2 ○活動を振り返り、自分にできることを考える。	・色々なことを調べてきたな。お世話になった人もたくさんいたな。カイコはか	○これまでの活動の様子を写真やポートフォリオで振り返らせることにより、考えを深めさせる。	思	○これまでの活動したことを、今後の自分の生活と結びつけて考えてい

広 げ る ・ 6	2	<p>○自分達ができることについて話し合う。</p> <p>・友達が考えていることがよく分かった。 ・自分が気づかないことを考えていた人もいたな。 ・カイコを飼ったり、養蚕について調べたりしてよかったな。</p> <p>・初午だんごを作ることが楽しみだな。</p> <p>・初午以外の季節の行事は、どんなことをするのかな。</p>	<p>○それぞれの考えを作文に書かせる。</p> <p>○前時に書いた作文を交流させることを通して、自分達ができることをまとめていく。 ○1つの考えにより多くの児童が関わるように、つなぎや切り返しの発問を工夫していく。</p> <p>――予想される反応――</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物を大切にしたい。 ・養蚕農家の人達のように、一生懸命物事に取り組みたい。 ・升形地区を大切にしたい。 ・繭や絹製品のよさを広めたい。 <p>○2月には、実際に初午だんごを作ること知らせ、季節の行事への意識づけを図り、次の学習へつなげる。</p>	思	<p>る。</p> <p>(観察・作文)</p> <p>○友達と考えを交流させながら、これから自分達ができることについて考えを深めたり広めたりしている。</p> <p>(観察・発表・学習カード)</p>
	ふ れ る ・ つ か む ・ 6	1	<p>○「初午」の他に、季節の行事には、どんなものがあるのか知る。</p> <p>・色々な行事があるんだな。 ・知っている行事と、よく分からない行事があるな。 ・全く聞いたこともないものもあるな。今も続いているのかな。 ・初午のように、それぞれに思いや願いがあるんじゃないかな。 ・色々な行事について調べてみたいな。</p>	<p>○児童が知っている季節の行事を挙げさせてから、社会科の「沼田市に伝わるもの」の年中行事の欄を参照させる。 ○幾つかの行事の写真や昨年度の4年生の活動のVTR(注連飾り作り)を提示したり、児童の体験を発表させたりすることにより興味・関心を高める。</p>	関
追 究 す る ・ 17	3	<p>○調べたいことをカードに書く。 ○よりよい課題を作るための視点について確認する。</p> <p>○グループごとの課題、学級全体の課題を設定する。</p> <p>・カイコの学習をした時のことを思い出そう。 ・なぞがたくさんありそうで、自分達でどんどん調べている課題がいいな。 ・似ている内容のカードは、1つにまとめよう。 ・まとめたカードに、どんな題名をつけたらいいかな。 ・みんな協力して、課題ができたな。</p>	<p>○調べたい行事、知りたいこととその理由を書かせる。 ○カイコや養蚕についての課題作りを振り返らせ、ねらいの達成につながり、追究しがいのある課題作りをするための視点を確認する。→「課題作りの視点」の再確認 ○選んだ行事ごとにグループを編成する。 ○KJ法の活用、課題作りの視点との照合をしながら課題を吟味させる。</p> <p>――学級全体の課題(例)――</p> <p>季節の行事について調べよう</p> <p>――グループごとの課題(例)――</p> <p>・○○(行事名)について調べよう どんなことをするのか どんな意味があるのか</p>	思	<p>○「課題作りの視点」に沿ってよりよい課題について考え、適切な課題を設定している。</p> <p>(観察・発言・付箋)</p>
	2	<p>○小課題ごとに、調べる計画を立てる。</p> <p>・学校の図書館や、市立図書館で本をさがしてみよう。 ・家の人に聞いてみよう。 ・お話をしてくれそうな人をさがしてみよう。</p>	<p>○調べる方法、必要なことやものについて、具体的に挙げさせる。 ○(家庭との連携を図りながら)自分達で準備できることについては自主的に取り組めるように声かけをする。</p>	思	<p>○課題を追究するために適切な方法を具体的に考えている。</p> <p>(観察・発言・学習カード)</p>
追 究 す る ・ 17	6	<p>○行事ごとにグループに分かれて調べる。</p> <p>・色々なことが分かってきたぞ。 ・資料の大事な部分に線を引いて、あとでまとめよう。 ・箇条書きにしておくと、後で見直ししやすいな。</p>	<p>○家族に聞く、自分で文献を探すなど、自主的な取り組みを奨励する。 ○児童が活用しやすい資料を教師からも提示し、活用させる。 ○調べたことを記録させる際は、そのまま書き写すのではなく、要約や箇条書きなど、簡潔明確な方法で取り組ませる。その際には、国語科の「伝言はまちがわずに」、「アップとルーズで伝える」「選んで伝える」等の学習を振り返らせる。</p>	技	<p>○目的に応じて資料を集め、そこから必要な情報を探し出しながら課題について調べている。</p> <p>(観察・学習カード)</p>
	3	<p>○注連飾りの製作を体験する。</p> <p>・すごいな。どうやって作るんだろう。 ・早く作ってみたいな。 ・できあがってうれしいな。 ・昔の人達は、稲藁までも大切にしていたんだな。物を大事にしていたんだな。 ・家に持って帰って飾ってみよう。お正月が終わったら、注連飾りはどうするのかな。</p>	<p>○子ども達にとってなじみ深いお正月に向けての準備の1つとして、全員で注連飾り作りを体験する機会を設定する。 ○地域から外部講師を招いて指導していただく。講師の方の作品を事前に教室に展示しておき、興味・関心を高めておく。 ○製作を始める前に、注連飾りを作る理由、稲作文化との関わり等について講師の方からお話ししていただく。 (○作った飾りは家や教室に飾ったり、年明けにはどんど焼きに持っていかなさるなどして、実感を伴った活動にしていく。)</p>	関	<p>○注連飾りの製作に意欲的に取り組んでいる。</p> <p>○講師の方と積極的にコミュニケーションをとっている。</p> <p>(観察・作品)</p>
追 究 す る ・ 17	2	<p>○調べたことを整理し、分かったことをまとめる。</p> <p>・色々なことが分かってきたな。整理して、すっきりまとめよう。</p>	<p>○自分達の活動の振り返りと、他のグループとの交流の双方に活用できるよう、模造紙等に大きくはっきりまとめさせる。</p>	技	<p>○調べたことを整理したり課題解決のために必要な情報を取り出ししている。</p> <p>(観察・模造紙)</p>
	2	<p>○分かったことを知らせ合う。 ○さらに詳しく調べたいことを考える。</p> <p>・友達のグループも、色々なことが分かったんだな。 ・いつごろからやっているのかな。 ・どんな思いや願いがこめられているのかな。 ・今は見かけない行事は、どんなふうに行っていたの</p>	<p>○分かったことを交流させることにより、活動を見直しにつなげていく。 ○児童が気づいていない部分については、教師側からの言葉かけや発問、他の児童からの質問等を通して意識を向けさせていく。 ○くわしく調べることは焦点化し、目的が明確な活動になるようにする。 ○さらにくわしく調べるための方法につい</p>	思	<p>○友達と考えを交流させながら、よりよく課題を解決するためには、さらに何を調べたらよいか考えている。</p> <p>(観察・発言・学習カード)</p>

		か、もっと知りたいな。 ・もう一度、資料を読んでみよう。 ・他の資料もさがしてみよう。 ・お話を聞かせてくれた人に、また教えてもらいたいな。	でも考えさせていく。 — さらに調べたいこと (例) — いつごろからやっているのか。 どんな思いや願いがあるのか。 今はあまり見かけない行事は昔はどのように行っていたのか。 人々の生活とどんな関係があるのか。			
	2	○さらに詳しく調べる。	・色々なことが分かってきてよかったな。	○目的が明確な活動になっているかどうか留意しながら児童の様子を観察し、適宜助言を行う。	技	○必要な資料を集め、知りたいことを探し出しながら調べている。 (観察・学習カード)
	2	○初午だんごを作り、木に飾る。	・待ちに待っていた。 ・早く作りたいな。 ・繭の形に似せてだんごを作ろう。 ・カイコの学習がなつかしいな。 ・木に飾るときれいだな。	○地域から外部講師を招いて指導していただく。 ○初午の趣旨や自分達の学習を振り返らせ、それらとつながりのある活動であることを意識させる。 ○調理にあたっては火を使う場面もあるので、安全面に十分留意させる。	関	○初午だんご作りに意欲的に取り組んでいる。 ○講師の方と積極的にコミュニケーションをとっている。 (観察・作品)
ま	2	○これまで調べてきたことから、誰に何を伝えられるかを考える。	・知らせたい人がたくさんいるな。 ・教えて下さった人達にも伝えたいな。 ・今まで学習したことをよく思い出してみよう。 ・知らせたいことがたくさんあるぞ。	○相手意識や目的意識が明確な活動になるように留意する。 — 予想される反応 — (誰に) ・両親 ・祖父母 ・総合的な学習の時間にお世話になった人 ・隣のクラスの友達 ・先生方 ・他の学年の人達 (何を) ・季節の行事にはどんなものがあるか。 ・どんなことをする行事か。 ・どんな意味があるのか。 ・いつごろからやっているのか。 ・どんな思いや願いがあるのか。 ・今はあまり見かけない行事は、昔はどのように行っていたのか。 ・人々の生活とどんな関係があるのか。	思	○これまでの学習を振り返り、調べたことを伝える相手や目的について考えている。 (観察・発言・学習カード)
と	1	○伝える方法について考える。	・みんなに、分かりやすく伝えられる方法がいいな。 ・壁新聞なら、来られない人にも後で見てもらえるし、記録として残すこともできるな。発表を聞いている人が、もう一度見直すこともできそうだな。 ・どんな行事だったのか動作でやってみるのもいいな。	○適切だと思う方法とその理由を発表させる。 ○大勢の人に分かりやすく伝えられる方法、当日来られない人にも後日伝えられる方法、自分達の活動が記録として残せる方法などを視点にしながら、伝える方法を絞り込ませていく。 — 予想される反応 — ・壁新聞にまとめてみよう。 ・紙芝居もできそうだな。 ・壁新聞や紙芝居を使って発表会をしよう。 ・動作を取り入れると伝わりやすくなることもありそうだな。	思	○相手や目的に応じて適切に伝える方法について考えている。 (観察・発言)
め	7	○発表の資料作りをする。	・分かりやすくまとめるためには、調べたことから選び出すことが大切なんだな。 ・表やグラフを使うと分かりやすくなることもあるんだな。 ・大きな声で、はっきり話すことが大事なんだな。	○国語科の教科書から「選んで伝える」を参照させ、伝えたいことが明確な資料作りを意識させる。 ○算数科の「整理の仕方」で学習したことを必要に応じて取り入れさせる。 ○内容が相手にはっきりと伝わるような発表の仕方になるように、声の大きさや話す速さに留意させる。	技	○教科の学習を生かしながら、伝えたいことの中心がはっきりとしたまとめの資料作りをしている。 (観察・まとめの資料)
る	1	○発表の練習をする。				
・	2	○発表会をする。	・みんなに聞いてもらえてうれしいな。 ・感想も聞けてうれしいな。	○児童が伝えたい相手については、事前可能な限り、参加を呼びかけておく。 ○発表後に聞き手から感想を言ってもらい、双方向性のある発表会になるようにする。	関・技	○友達の発表した内容に積極的に関わろうとしている。 ○伝えたいことが明確に伝わるような話し方や資料の提示の仕方をしている。 (観察・発表)
生	2	○活動を振り返り、自分にできることを考える。	・色々なことを調べてきたな。お世話になった人もたくさんいたな。	○これまでの活動の様子を写真やポートフォリオで振り返らせることにより、考えを深めさせる。 ○それぞれの考えを作文に書かせる。	思	○これまでに活動したことを、今後の自分の生活と結びつけて考えている。 (観察・作文)
か	2	○自分達ができることについて話し合う。	・友達が考えていることがよく分かった。 ・自分が気づかないことを考えていた人もいたな。 ・季節の行事ついて調べてみて、よかったな。	○前時に書いた作文を交流させることを通して、自分達ができることをまとめていく。 ○1つの考えにより多くの児童が関わるように、つなぎや切り返しの発問を工夫していく。 — 予想される反応 — ・季節の行事には人々の思いや願いがあり、大切に続けられてきたことが分かった。だから、自分も大事に続けていきたい。	思	○友達と考えを交流させながら、これから自分達ができることについて考えを深めたり広めたりしている。 (観察・発表・学習カード)
す	2	○1年間の総合的な学習の時間を振り返り、作文を書く。	・季節の行事を調べたら、地域の昔の様子がよく分かった。 ・季節の行事には、人々の願いや思いがこめられてい	○自分や友達が学んだこと、気づいたこと、成長したと感ずること等について書かせる。 ○これまでの活動の様子を時系列で提示し、どのような学びがあり、どんな人と関わってきたのか振り返らせたり、その蓄積を実	関	○季節の行事について調べた中で関わった人・もの・ことよさを再認識し、地域に誇りと愛着を持ち、地域の一員と
・	2	○作文を発表し合				

10	う。	<p>る。だから、これからも続けていきたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しながら調べることができてよかった。 ・色々な人のお世話になった。ありがたいな。 ・地域的人是優しいな。 ・地域のよさを広めたいな。 ・地域を、大切にしたいな。 ・地域を、もっともっとよくしていきたい。 ・この地区がふるさとでうれいな。 	<p>感させたりしながら考えを深めさせていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○共感的に発表を聞くことのできる雰囲気づくりに努める。 ○児童の1年間の学びを価値付ける言葉かけをし、取り組みを賞賛する。 ○作文は文集として製本し、各自に配布する。(児童と相談の上、今年度お世話になった方にも届ける。) 	<p>して自分にできることを考え実践しようとする。(観察・発表・学習カード)</p>
----	----	--	--	--

5 学年「総合的な学習の時間」単元指導計画（実施時期 4月～3月）【食・環境】

単元名		お米 再発見！ (7.5時間予定)				
目標		○米や米作り、米の食文化について地域の人や友達と共に進んで調べ、色々な見方考え方を深めていく中で、米のよさや大切さ・地域の人々の知恵と努力に気づき、自分にできることを考え実践しようとする。				
		評 価 規 準				
		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
		米や米作り、食文化に興味をもち、進んで課題を見つけて解決したり、自分にできることを考え実践したりしようとする。	体験したことや調べたことに応じて整理し、多面的に考えて分析し、意見を交流させながら自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	地域の人や友達と協力しながら、課題を解決するための適切な情報を収集・選択したり、相手や目的に応じたまとめ方や伝え方を工夫したりしている。	安全な米作りや米のよさ・大切さ地域の人々の努力について理解する。	
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主な支援	評価観点	評価項目(評価方法)
ふ れ る ・ つ か む	1 2	○米や米作りに関心をもつ。 ○米や米作りについて知っていることを書き出す。	・おいしいな。 ・自分たちもこんなお米が作ってみたい。 ・米はどうやって作るのかな。 ・わたしたちは、米を毎日食べているね。	○昨年度の5年生が作った米を提示し、実際に食べてみることに興味を高めるようにする。 ○知っていることや考えたことを学習カードに書かせたり、黒板に書いて発表させたりすることにより、米や米作りのイメージを広げさせる。	関	○米や米作りについて関心をもっている。(観察・発言・学習カード)
	3	○どんな米を作りたいか理由を考えて、意見を出し合う。 ○大課題を設定する。	・おいしく心を込めて作りたいな。 ・安全、安心なお米を作りたいな。 ・去年の5年生のように自分たちが作ったお米を4年生にプレゼントしたいな。	○社会科「米作りのさかんな庄内平野」の喜ばれる米作りを想起させ、おいしさだけでなく安全性に目を向けさせていく。 資料例： ・外国産米 ・事故米 ・農薬使用量 ○4年生の時の初午だんごづくりで米粉を使ったことを想起させる。 大課題1 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">安全・安心でおいしい米を作って4年生にプレゼントしよう。</div>	思	○根拠を考えて、適切な課題を設定している。(観察・発言)
	4 5 6 7	○種もみをまく。 ○苗の成長を観察する。	・種もみをまいて稲の苗を育てるんだね。この後どんな育ち方をするのだろう。 ・どんな世話があるのかな。 ・育苗箱を置く場所によって、苗の育ち方が違うね。 ・いつ頃、どのように田植えをするのかな。	○利根実業高校の先生や生徒の話をよく聞いて、種まきの仕方が覚えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">外部講師：利根実業高校の方たち</div> ○教室でも、シャーレに種をまいて発芽の様子を観察させ、興味をもたせる。 ○苗を観察し、観察カードに記録させる。 ※種もみまき 4月下旬 種もみまきから約3週間で田植え	関	○田植えの準備作業や苗の観察に意欲的に取り組んでいる。 ○利根実業高校の先生の説明をしっかりと聞き、積極的にかかわっている。(観察・発言・観察カード)
	8 9 10	○米や米作りについて調べたいことをカードに書く。 ○小課題を設定する。 ○課題づくりの視点を考え、決める。 視点 ①自分たちが成長する。②長期間調べられる。③大課題と関連している。④自分たちで調べられる。⑤色々な調べ方ができる。	・お米はどのようにして作るのかな。 ・安全な米作りについて調べたい。 ・米作りの昔と今について調べたい。 ・米作りで大変なことについて調べたい。 ・米の品種改良って何だろう。 ・自分たちが成長したり、色々な調べ方ができるのが課題としていいね。 ・どのように調べたり、誰に聞いたりすればいいのかな。	○前時の体験の写真を提示したり、社会科の「米作りのさかんな庄内平野」の大型機械化の内容を想起させたりして、調べたいことが書けるようにする。 ○ねらいの達成につながるように、視点を設定し、課題の吟味をする。 ○KJ法で分類・整理して個→グループ→全体でまとめていく。 小課題 ・稲の生長や米のしくみ ・安全な米作りの環境 ・米作りの昔と今 ・米作りの工夫・苦労 ・米の種類や品種改良	思	○課題づくりの視点に沿って適切な課題を設定している。(観察・発言・カード)
	11	○調べるための計画を立てる。	・これで調べられそうだなぞ。 ・よし、がんばって調べろぞ。	○同じ課題に興味をもった者どうしてグループを作り、協力し合って調べ活動が行えるようにする。 ○調べる方法や必要なもの、ことについて考えさせる。 ○課題別に見通しをもって計画を立てられるようにする。 ○インタビューや訪問の予定を立てさせる。	思	○課題追求のための計画を具体的に考えている。(観察・発言・学習シート)
	12 13 14	○田植えをする。 ○体験したことを調査カードや感想カードに記録する。	・大きくなった苗をいよいよ田んぼに植える。楽しみだな。 ・苗をきれいに植えるためにこんな道具を使うんだな。 ・田んぼの土は気持ちいいよ。(気持ち悪いよ)。 ・手で植えるのは腰が痛くて、時間もかかり、とても大変な作業だな。 ・順調に生長してほしいな。	○土(泥)の感触を十分味わい、楽しく田植えを体験させる。 ○田植機での作業も、見学させてもらい、手作業と比較できるようにする。 ○稲を発泡スチロールの箱に植え、日常的に生長の様子を観察できるようにする。 ※田植え 5月下旬 ○作業の楽しさや大変さについて振り返らせるとともに、今後の生長への期待を学習シートに記録させる。	関 技	○田植えの作業や振り返りの活動に意欲的に取り組んでいる。 ○利根実業高校の先生や高校生と積極的にかかわっている。(観察・発言・学習シート)
	15 16	○これまでの観察・活動の記録を整理し、気付いたことを発表し合う。	・農家の人は、多くの苗を植えられてすごい。 ・利根実のお姉さん達は、優しいし上手だな。 ・機械と手作業では、速さに違いがあるな。	○国語「言葉の研究レポート」の表や社会「水産業で働く人の変化」のグラフを提示して、情報に合った整理の仕方を考えさせる。 ○教室での学習時には、大課題を掲示して、4年生にプレゼントすることを意識させる。 ○情報の量が少ないことが予想されるので、個→全体で発表し合う。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。(観察・学習シート)
	17 18	○小課題に沿って、グループごとに調べる。	・品種の改良をするには長い年数がかかっている。 ・稲は、胚乳から栄養をと	○本やインターネットなどを活用して自主的に調べさせる。	技	○必要な資料を収集、選択し、課題について調べている。

追 究 す る 35	19		っているんだ。 ・友達に教えてもらって、新しい資料が手に入ったぞ。			(観察、学習シート)
	20	○米作りの体験活動を継続する。	・田んぼを踏むと草がはえてこないんだな。	○稲の生長の妨げとなる雑草や虫をとり除く作業を体験させる。	関 技	○作業や観察活動に意欲的に取り組んでいる。(観察・発言)
	21	・雑草や虫への対応 ・水の管理 ・生長の様子を観察 ・田んぼの生き物の観察	・田んぼには色々な生き物がいるんだな。 ・いつも稲の様子を見たり水やりをしなくてはならないから大変だ。 ・丈が伸びて生長してきた。 ・稲は分けつして太くなっていくんだな。	○アイガモを見学し、除草や虫取りについて利根実業高校の先生に説明していただく。 ○稲の生長には水の管理が重要なことを体験を通して実感させる。 ○観察用の稲を決めて草丈の伸びや分けつの様子について継続して観察、記録できるようにする。 ○理科「生命の誕生」との関連を図る。		
	22	○調べたことを整理し、分かったことや自分の考えを学習シートに書いて、小課題別の班で整理する。	・除草は、大変だね。 ・長い年月をかけて、おいしいお米ができています。 ・自然の除草法はやった方が良い。 ・生物がいるのは、安全ということだね。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○小課題の班で、情報の提供をするなど協力し合って、分類・整理させる。 ○社会「水産業の変化」の学習の資料を提示して、思考の仕方を想起させ活用できるようにする。 ○友達と意見の交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。(観察・学習シート)
	23	○分かったことを知らせ合う。 ○さらに詳しく調べたいことを考える。	・他のグループはどんなことが分かったのかな。 ・関係していることはあるかな。	○グループごとに発表し合い、知識を共有する。 ○考えを深めさせたいことについては、発問を工夫する。		
	24	○除草をする。	・稲が腰ぐらいに伸びてずいぶん生長したな。 ・稲の葉で、足が切れて痛かったり、歩きづらかったりするけど、おいしいお米作りや4年生にプレゼントするために頑張ろう。	○田んぼの稲の間を歩くことで、除草ができたとき酸素が送られたりして、稲が元気になること、殺虫剤の回数が減らせることを利根実の先生に話していただき、満足感をもたせたい。	知 思	○考えを交流させながらよりよい課題解決のためにさらに調べることを考えている。(観察、発言、学習シート)
	25	○さらに詳しく調べる。 ※7月～夏休み中 ・生長の様子を観察や世話 ・農家の人へのインタビュー ○かかし作りをする	・いろいろなことが分かってきたな。 ・稲の花は、白くてかわいらしいんだな。 ・農家の方は、毎日稲の心配をしているんだな。 ・色が変わって穂が垂れてきたな。 ・雀がいっぱいたよ。お米が食べたら大変だ。	○課題に沿った追究方法を工夫するよう助言する。 ○夏休み前後の変化をとらえさせ、観察カードに記録させる。		
	26	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・農家の方は、色々世話があるし、工夫して仕事をしている。 ・沼田は、お米作りの自然条件がいいな。 ・農薬は最小限がいい。	○7月～9月までに得た情報に応じて適切な整理ができるようにする	関	○必要な資料を集め、知りたいことを探しながら調べている。(観察、学習シート) ○作業や観察活動に意欲的に取り組んでいる。(観察・発言)
	27	○稲かりをする。	・鎌の使い方に慣れてきたよ。 ・かった稲はこのようにして干すんだな。 ・やっとお米ができてうれしい。 ・自然乾燥と機械乾燥ではどう違うのかな。 ・地域の農家では、どちらでやっているのかな。	○稲が実ったこと、それを収穫することの喜びを感じながら楽しく作業をできるようにする。 ※稲かり 9月末～10月初旬 天日干し 2週間(雨が多いと1カ月) ○作業の楽しさや大変さについて振り返らせるとともに、収穫の喜びを学習シートに記録させる。 ○学校で育てた稲の収穫も行う。		
	28	○調査や情報収集をする。	・機械乾燥だとお米が割れたりするそうだ。 ・利根実業高校の田んぼの水は、武尊山から流れてきている。	○本やインターネット、聞き取り調査をさせるが、授業以外でも自主的に調べさせる。	技	○必要な資料を収集、選択し、課題について調べている。(観察、学習シート)
	29	○脱穀、もみすり精米をする。(見学する)	・それぞれの作業を機械でするんだな。 ・わらやもみがらやぬかはどうするのかな。 ・いよいよ食べられるお米になった。4年生にもプレゼントできるね。 ・おいしいかどうか食べてみよう。 ・利根実業高校の先生や生徒さんと一緒に食べたいな。	○作業の様子をよく観察させる。 ※10月下旬 ○昔の道具での作業も体験させ、今の作業との違いに気付かせたい。		
	30	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・一粒の種からこんなにたくさんのお米がなるなんてすごいな。 ・機械と手作業ではそれぞれによさがあるんだな。 ・お米を育てるのは大変なんだな。 ・地域の人の協力や温かさが感じられるな。 ・わらやもみ殻やぬかは色々利用されているんだな。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○小課題の班で、情報の提供をするなど協力し合って、分類・整理させる。 ○考え方の見本を提示したり、良く書けている友達の考えを紹介したりして、自分の考えがもてるようにする。 ○同じ小課題の班の友達と意見の交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。(観察・学習シート)
	31	○調べる				
	32	○調べる				
33	○調べる					
34	○調べる					
35	○調べる					

まとめる 1	45	○分かったことや考えたことを知らせ合う。	・他のグループはどんなことが分かったのかな。 ・米を大切にしたいという考えが同じだな。	○小課題の班ごとに発表し合い、知識を共有する。 ○考えを深めさせたいことについては、発問を工夫する	知 思	○考えを交流させながら自分の調査結果や考えと関連付けたり、比較したりしている。(観察、発言、学習シート)
	46	○お世話になった利根実業高校の人達に手紙を書く。	・おいしいお米づくりでは、とてもお世話になったな。	○米作りを通して学んだことや自分が成長したこと、専門性、努力、優しさについて感じたこと、感謝の気持ちが書けるようにする。	知	○安全な米作りや地域の人のよさについて理解している。(児童の手紙)
	47	○新米を炊いて味わう。(家庭科 2 時間扱い)	・お世話になった利根実の先生や生徒さんも招待しよう。 ・自分たちで作って、収穫したばかりのお米はおいしいね。一粒でも大切にしよう。 ・他のお米の料理もやってみよう。	○家庭科「ごはんのみそ汁」の調理実習と関連して、実施する。 ○感謝の気持ちを大事にする。 ○4年生にも、お米をプレゼントして、初午の団子作りで、米粉として使ってもらったり、試食してもらったりする。	関	○利根実業高校の先生やお姉さんたちと楽しく交流しながら食べ、収穫を喜んでいる。(観察)
ふれる・つかむ 4	48	○新米を食べて、さらに調べたいことを考える。	・こんなにおいしいご飯なのに何で食べる量が年々減ってきているね。何でかな。 ・お米のいいところを見つけてみんなに知らせたいね。 ・おうちの人や4年生の人達に伝えたいな。	○米の消費量が減ってきている資料を提示して、問題意識をもたせる。 ○食に関する興味や疑問をもつようにし、共通の大課題を作る。 大課題2 お米のよさを発見して、PRしよう	思	○根拠を考えて、適切な課題を設定している。(観察・学習カード・発言)
	49	○米について調べたいことをカードに書く。	・お米を使った料理を調べてみたい。 ・お米にはどんな栄養があるのかな。 ・お米の利用法やお米製品を調べてみたい。 ・何で調べたり、誰に聞いたりすればいいのかな。	○ウェブマップで米そのものに関するイメージを広げさせる。 予想される小課題 ・お米の栄養 ・米の利用法 ・米からできる製品(食品や加工品) ・米料理(郷土食) ・米の食文化 ・外国米との比較	思	○課題づくりの視点に沿って適切な課題を設定している。(観察・発言・カード)
	50	○小課題を設定する。	・お米の栄養や調理法は栄養士さんに聞くといいかな。 ・米製品は、スーパーマーケットで調べられそうだな。 ・インターネットにも、出ていそうだな。	○調べる方法や必要なもの、ことについて考えさせる。 ○課題別に見通しをもって計画を立てられるようにする。	思	○課題追求のための計画を具体的に考えている。(観察、発言・学習シート)
追究する 11	51	○計画に沿って調べる。	・お米は私達の暮らしと深いつながりがあるんだな。 ・日本の食文化を見直した ・新しい米の利用がみつかった。	○お米の栄養や調理法については、栄養士さんから教えていただく。また、家庭でも聞き取りをして、調理もできるようにする。 外部講師：給食センターの栄養士	関 技	○必要な資料を収集、選択し、課題について調べている。(観察、学習シート)
	52	○調べたことを整理し、考えの交流をする。	・お米は健康にいいから、毎日食べた方がいい。 ・地域の人のお米のよさを生かす知恵はすばらしい。	○情報に応じて適切な整理ができるようにする。 ○同じ小課題のグループ毎に、意見交流をして、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	思	○調べたことを整理して自分の考えをもち、友達との交流でさらに考えを深めている。(観察・学習シート)
	53	○分かったことを知らせ合う。	・さらにお米のよさが分かってきた。 ・お米は大切なんだね。	○全体で調べた内容や考えたことについて、知らせ合い、共通点や相違点に気付かせる。	知	○考えを交流させながら自分の調査結果や考えと関連付けたり、比較したりしている。(観察、発言、学習シート)
まとめ 8	54	○調べたことや体験したことをどのように伝えたらよいかを考える。	・みんなに分かりやすく伝える方法を考えよう。 ・写真や図やグラフを使ったり、実演するのもいいな。	○米作りや米のよさについて調べてきたことを、大勢の人にわかりやすく伝えるにはどうしたらよいか考えさせる。	思	○相手や目的に応じて適切に伝える方法を考えている。(観察・発言)
	55	○発表の資料を作り、練習をする。	・調べたことから選んで分かりやすくまとめよう。 ・写真を使ってまとめると分かりやすいものがあるな。 ・聞いている人によく伝えるように考えながら練習しよう。	○他教科で学習したことも必要に応じて生かしながらまとめさせる。 ○内容が相手によく伝わるように発表の仕方を工夫させる。	技 知	○分かりやすくまとめ、伝えるために工夫している。(観察・発表資料)
	56	○発表会をする。	・みんなに聞いてもらえてよかったな。 ・しっかり伝えられたな。	○児童が伝えたい相手について事前に参加をお願いしておく。	関 技	○伝えたいことが明確に伝わるような発表の仕方をしていく。(観察・発表)
生かす・広げる 5	57	○活動を振り返り自分のできることを考える。	・いろいろなことを体験したり調べたりしてきたな。 ・米や米作りについてたくさん分かった。 ・お米を大切にしよう。	○これまでの活動を写真やポートフォリオで振り返らせ、考えを深めさせる。 ○考えを作文に書かせる。	関 思	○これまでの活動を今後の自分の生活と結びつけて考えている。(観察・作文)
	58	○自分達ができることについて話し合う。	・ご飯を残さず食べよう。 ・安全な米づくりができるように良い環境をつくらう。 ・ご飯を食べる日を増やそう。 ・米作りの手伝いをしよう。 ・物は最後まで大切にしよう。	○作文を交流させ、自分達ができることをまとめる。	思	○友達と考えを交流させながら、これからの自分達にできることについて考えを深めている。(観察・発表・学習シート)

6 学年「総合的な学習の時間」単元指導計画（実施時期 4 月～7 月）【地域（福祉）】

単元名		やさしさの輪を広げよう (27時間予定)				
目標		○お年寄りが幸せに暮らせる社会とはどんな社会なのかを調べ、交流体験をする中で、お年寄りについて理解して、自分を生かしながら、地域の人と共に自分にもできることを進んで見つけ実践することができる。				
評 価 規 準						
関心・意欲・態度		思考・判断	技能・表現	知識・理解		
地域の福祉に関心をもち、進んで課題を解決したり自分にできることをしていこうとする。		福祉について調べたことから、結論づけたり、次の活動を考えたりすることができる。また、お年寄りが幸せに暮らせる社会について考えることができる。	課題解決のために多様な情報を収集し、その中から有効な情報を選択して整理し、そのことを相手に応じて適切に伝えることができる。	地域のために努力をしている人の存在やお年寄りの気持ちを理解することができる。		
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主 な 支 援	評価観点	評価項目（評価方法）
ふれる・つかむ・5	1	○福祉の視点で地域の問題を見つける。 ○ふれ合いサロンのビデオを見る。	・5年生で、お年寄りとの交流をしたけれど、お年寄りのことで他にも問題がありそうだな。	○自分の近所のお年寄りから、不安なこと困っていることを直接聞いたり、独居老人の交流の様子のビデオを見て、問題をつかませる。	関	○感じたことや考えたことを進んで書いたり発表したりしようとしている。 (観察、学習カード)
	3	○これまでの体験や調査活動を通して、考えてみたい課題を出し合う。 ○大課題をつくる。	・地域のどんな取り組みや施設・設備があるのかな。 ・お年寄りは、どんな願いがあるのかな。	○現在行われている福祉事業を調べる。	思	○様々な視点からの確かな課題を設定している。 (付箋、発言)
	1	○調べるための計画を立てる。	・どこで調べたり、誰に聞いたりすればいいのかな。	○課題別に分かれて、見通しをもって、立てられるようにする。 ○インタビューや訪問の予定も立てさせる。	思	○課題追究のための計画を考えている。 (発言、学習カード)
追 究 する・15	4	○課題別のグループに分かれて、調べる。	・学区にどの位のお年寄りがいるかや一人暮らしのお年寄りについて調べてみよう。 ・生き生きサロンや地域の施設の見学がしたいな。 ・働く人やお年寄りにもインタビューしてみたいな。	○図書館や家庭で、自主的に調べさせる。 ○訪問の時は、メモ・写真・録音などの役割分担をさせる。 ・小出八重子さん【ふれ合い生き生きサロン】 ・デーサービスセンター ・市役所	技	○必要な資料を収集、選択している。 (学習カード、観察)
	2	○調べたことを整理し、分かったことをまとめる。	・どんな整理の仕方がいいかな。	○情報に応じて、適切な整理ができるようにする。また、その事実にもとづいて、どんなことが分かるか、自分の考えを導き出せるようにする。	思知	○教科で学習したことを活用しながら整理し、分類・関連付けなどをしながら、結論づけをしている。
	1	○お互いの情報の交換をする。	・他の班は、どんなことが分かったのかな。 ・関係していることもあるかな。	○班ごとに発表し合い、知識を共有する。	関	○まとめたことを分かりやすく伝えている。 ○友達の内容を正しく把握している。 (発表、観察、学習カード)
	1	○これから自分たちができることを話し合う。	・お年寄りにとって住みよい地域にするためにどんなことができるかな。	○啓発・ボランティア活動・お年寄りに優しい町づくりの提案などが予想される。	思	○理由付けをしながら、自分の考えを発表している。 (発言・学習シート)
ま と め る・4	7	○実践の班に分かれて、活動する。	・地域の人に、お年寄りのことをもっと分かってもらおう。 ・お年寄りが喜ぶことをしよう。 ・どんな設備や道具、環境があるといいのかな。 ・接し方も考えよう。	○工夫・協力をして準備・活動をする。 ○ボランティア活動の体験は、2班に分けて、全員体験できるようにする。 ○自分の考えや感じたことを記録していくようにする。	関・技	○めあてを意識しながら主体的に活動している。 ○準備したことを練習したことを生かして活動している。(児童の作品・観察)
	1	○活動を振り返って、感想や分かったことをまとめる。	・お年寄りが喜ぶと自分も楽しくなるな。 ・お年寄りの立場になって考えることが大切だな。	○交流会の課題、めあてについての自己評価、感想の記述などを通して活動を振り返る。	知	○課題やめあてをしっかりと捉えた活動ができたか、自分や友達活動を的確に評価している。 (学習カード、発言)
	1	○だれにどのよにして伝えるか話し合う。	・違う班の友達や地域の人に知らせたいな。	○地域の人に働きかけるという視点で、考えさせる。	思	○目的に応じて、伝える相手や方法を考えている。 (発言)
生 か す・広 げ る・3	2	○効果的になるようにまとめる。	・交流活動は、写真を使ってまとめた方が良さな。	○調べたことや活動したことを振り返り、課題について具体的にまとめさせていく。	技	○分かりやすくまとめるために工夫している。 (発表資料、観察)
	2	○まとめたことを発表する。	・友達の表現の工夫が見られたな。	○地域でお世話になった人や区長さんにも発表を聞いてもらう。	技	○まとめたことを分かりやすく伝えている。 ○友達の発表内容を正しく把握している。 (発表、観察、学習カード)
	1	○今後の自分の生活や地域の中でさらにできることについて考える。	・地域の様々な人達と共に生き、できることをしていこう。	○広い意味の福祉という視点で、生かせることを考えられるようにする。	思知	○活動したことと自分の生活を結びつけて考えている。 (発言・学習カード)

6 学年「総合的な学習の時間」単元指導計画（実施時期 9 月～2 月）【地域（伝統）】

単元名	沼須人形芝居を伝えよう (48時間予定)					
目標	○沼須人形芝居について調べたり、芝居を見学・体験したりすることを通して、地域の伝統芸能のよさやそれを支えている人の願いを知り、伝えていくことの大切さが分かる。					
評 価 規 準						
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解		
調査・見学・体験をすることで、地域の伝統芸能に関心をもち広く知らせることで自分に行き届くことを実践しようとする。	人形芝居やあけぼの座の人達について調べた情報を整理・分析し、沼須人形芝居や芝居をする人の素晴らしさや、よりよい活動について考えることができる。	課題を解決するために適切な方法を選び、情報を収集し、効果的にまとめて伝える工夫をしている。	伝統芸能のよさや伝えていくことの大切さが分かる。			
過程	時間	主な学習活動	子どもの意識の流れ	主 な 支 援	評価観点	評価項目（評価方法）
ふれる・つかむ・8	3	○沼須人形芝居の人形を動かすのを見学したり、実際に動かしたりしてみる。	・自分たちも、やってみたくない。 ・人形を動かすのは、指が痛いし、難しいな。どう動かしたらいいのかな。 ・あけぼの座の人達に動かし方を教わりたくない。 ・沼須人形芝居の事を詳しく知りたいな。	○ゲストティーチャーに、沼須人形芝居が沼田市の重要文化財であることとボランティア活動をしていて問題を感じていることについて話してもらおう。その際、人形を動かしていただくことで、興味をもたせる。 外部講師：あけぼの座の方たち	関	○沼須人形芝居について関心をもっている。 (観察・学習シート)
	3	○人形芝居について調べたいことをカードに書く。 ○大課題を作る。	・人形は何種類あるのかな。 ・どんな活動をしているのかな。 ・いつ頃から、やっているのかな。 ・人形浄瑠璃って何だろう。	○KJ法で分類・整理して、個→グループ→全体でまとめていく。 ○社会科の「江戸の文化」と関連させて、歴史や文化財への関心も持たせる。 ○視点を考え、視点に沿って課題を設定していく。 予想される大課題 沼須人形芝居を学ぼう	思	○課題作りの視点に沿って、適切な課題を考えている。 (カード・発表)
	2	○同じ小課題毎に、グループを作り、調べる計画を立てる。	・資料の他にあけぼの座の人たちへのインタビューや見学も必要だね。	○どのようにして調べられるか考える。 ○事前連絡など、自分たちで出来ることは自主的に行わせる。	思	○見通しをもって計画を立てている。 (観察・学習シート)
追求する・19	5	○課題に沿って、資料で調べる。	・私達の町には、沼田市の宝があるんだ。 ・人形芝居には、古い歴史があったんだ。	○グループで分担をして、調べるので情報の交換をする。	技	○進んで情報を収集している。 (観察・学習シート)
	4	○あけぼの座の方にインタビューをする。 ○上手な動かし方について教えてもらおう。	・色々な所で活動しているんだね。 ・人形の動かし方がだんだん分かってきたよ。	○口上や三味線などは実演していただき、理解を深めさせたい。	技	○必要な情報を収集している。 (観察・学習シート)
	3	○沼須人形芝居について調べた情報を整理し、分かったことは何か考える。	・あんなに長い時間、人形芝居を演じていられるなんてすごい技だね。 ・あけぼの座の人の思いも分かってきた。	○情報の種類に応じた整理ができるように、参考になる資料を活用してすすめる。 ○整理した資料から、自分なりの考えがもてるようにする。	思	○収集した情報をもとに自分なりに整理し、分かったことなど結論づけている。 (発表・学習シート)
	1	○さらによく調べた方がよいことはないか考える。	・演目について調べて、もっと一緒に練習をして、演目を演じてみたいな。	○気付きがない場合は、教師の方から次につながる発問や投げかけをする。	思	○より良い活動について考えている。 (発表)
まとめ・15	6	○あけぼの座の人に教えてもらいながら、人形芝居の練習をする。	・うまく動かせるようになってきて、うれしいな。 ・だんだん人形の気持ちになってきたよ。 ・あけぼの座の人は、親切だね。進んで話せるようにしよう。	○待っている間は、これまでの活動のまとめをしたり、友達の演技を見て良いところを学んだりする。	関 技	○人形芝居に関心を持って進んで練習している。 (観察) ○あけぼの座の人と積極的に交流することができる。 (観察)
	2	○調べたこと、体験したことなどをまとめる。	・人形がうまく動かせるようになったし、人形芝居のことについてもよく分かったね。	○個々に、項目別にまとめていく。	技	○これまでの学習を生かして、効果的にまとめることができる。 (児童の作品)
	2	○学んだこと、成長したことを話し合う。	・前と比べて変わってきたことがあるんだな。 ・○○さんのような考え方もあるんだな。	○友達同士で意見交流をして、考えを広げたり深めたりする。	思・知	○沼須人形芝居やあけぼの座の人たちのよさを理解している。 (発表・作文)
	1	○だれに伝えたらよいか考える。 ○金井さんの話を聞く。	・だれに伝えたらいいのかな。 ・あけぼの座の人は、人形芝居を伝えていくために努力をしているんだな。	○沼須人形芝居について、地域の人が良く知らなかったり、後継者がいないという問題について、金井竹徳さんに話していただき、新たな課題につなげていきたい。	思	○新たな課題について考えている。 (発表・学習シート)
	1	○調査したことを発表し合う。 ○新たな課題を立てる。	・地域の人たちは、よく知っているのか調査してみよう。 ・あんまり知らないみたいだね。 ・私たちが地域の人たちに広めてやろう。	○家の人や近所の人に、人形芝居のことを知っているか事前に聞いておくようにする。 予想される課題 沼須人形芝居を、地域の人にPRしよう。	技	○必要な情報が集められる。 (調査カード)
1	○どのような方法で伝えたらよいか	・ポスターや実演はどうか	○伝える対象に適した方法を色々考えさせる。		○効果的な伝え方について考えている。	

	か考える。 ○これまでの追究で分かったことを色々な方法でまとめる。	・新聞にして、回覧しよう。 ・友達と協力してやろう。	○昨年の6年生の作品を提示して参考にさせる。	思 知・技	(発表・学習シート) ○これまでの学習を生かして、効果的にまとめることができる。 (観察・児童の作品)
生 か す ・ 広 げ る ・ 6	○発表会をする。	・お父さん・お母さんによく分かってもらえたかな?感想を聞きたいな。	○色々な発表が聞けるように、ポスターセッションで、発表する。	技	○相手に分かりやすく話すことができる。 (観察)
	○活動を振り返り、自分の生き方を考える。	・自分は、これからどんな生き方をしたいか?	○作文に書く。 ○友達と考えを交流する。 ○1年間の活動を振り返って総合的に考えさせる。 ○校舎内の清掃、地域のゴミ拾い活動など、身近なところでの実践にも目を向けさせたい。	思・関	○友達の考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (発表・学習シート)
	○名人さんにお礼の手紙を書く。	・あけぼの座の人たちに自分の思いを知ってもらいたいな。	○自分が学んだことや感謝の気持ちが伝えられるようにする。	知	○伝統芸能のよさや伝えていくことの大切さが分かる。 (手紙)



IX 研究のまとめ



1 研究の成果

〈1〉「問題解決的な学習過程における手立ての工夫・改善」に関する成果

- ・「考える力」を育成するために、問題解決的な学習を設定し、考える活動を充実させるための手立てを取り入れながら授業実践を積み重ねてきた。このことにより、児童が既有的な知識や技能を基に筋道立てて考えたり、根拠を明らかにしたりすることができるようになっていく。また、互いの考えを交流させる活動においては、それぞれの考えに対する理解を深めるとともに共通点や相違点を見出し、全体で考えを深めたり広げたりする姿も多く見られるようになっていく。
- ・問題解決的な学習は、各過程が有機的に関連し合っている。したがって、各過程が学習全体に作用していくことを踏まえながら授業を構想してきた。このことにより、ぶれなく授業を組み立てることができた。また、児童の学び方の定着及び向上にもつながった。

〈2〉「本時のねらいの吟味」に関する成果

- ・授業構想に際しては、本時のねらいを吟味することを、常に起点としてきた。このことにより、培いたい「考える力」を育成するためには、どのような思考活動や体験活動を設定することが妥当であるか、また、それらをどのように組み立てていくことが有効であるかが明確になった。

〈3〉「児童の意識の流れを踏まえた授業構想」に関する成果

- ・児童の意識の流れを踏まえ、児童の疑問や気付き、つぶやきなどを想定しながら授業を構想したことにより、培いたい「考える力」や児童の実態に応じた有効な手立てを設定することができた。また、本時の価値を教師と児童で共有することができた。
- ・1 単位時間のみでなく、単元全体の指導においても児童の意識の流れを明らかにし、指導計画に明記した。このことにより、児童がどのような思考を経て本時に至るのか、そして、次時の学習に向けて本時はどのような力を身に付けさせるべきか等、前後の授業も視野に入れながら授業を構想することができた。このように単元全体から本時を考察することを通して教材研究が深まり、本時の位置付け及び価値を明確にとらえることができた。

〈4〉「共同研究体制」に関する成果

- ・本校の「授業改善のサイクル」に則り、授業構想から授業リフレクションまで、共同研究体制で取り組んだ。このことにより、「考える力」を育成するための手立てに関する共通理解が深まり、研究内容の具現化を図る実践が推進された。また、「授業改善のサイクル」の中で成果と課題を共有したことが、各々の指導力向上につながった。
- ・模擬授業を実施したことにより、授業の組み立てや発問、手立てなどについて多様な視点からアドバイスし合うことができた。そして、授業者が自分の授業を客観的に見つめ直し、再考しながら練り上げて、本時に臨むことができた。
- ・授業リフレクションでは、忌憚なく意見を出し合い、授業者の気づきを広く促すことができた。そして、リフレクションの回数を重ねるごとに実施方法が整備され、協議内容に深まりが見られるようになった。また、授業を参観する立場になった際は、授業者が示した「授業の視点」を、児童の反応や変容と照らし合わせながら観察し、手立てや支援の妥当性を判断することに努めた。このことにより、授業を見る目が培われていった。



2 今後の課題

(1) 児童の考えを適切につないでいくこと

- ・児童の姿や表現したものから、その背景にある考えを的確に見取り、個に返したり、全体に投げかけたりしながら児童の考えを深めていくことができるような指導方法をさらに探究していきたい。教師の発問やかかわり方で、児童の思考がどのように変容するのかを明らかにし、培いたい「考える力」や児童の実態に応じた方法を検討し、実践していきたい。

(2) 児童の意識の流れを踏まえた授業構想を深化、拡充させること

- ・児童の意識の流れを踏まえた授業構想の深化、拡充を図り、実際の授業での有効性を高めるため、児童の姿をより一層具体的に、かつ詳細に予想することに努めたい。そして、児童の実態に応じた幅広い手立てを設定していきたい。

(3) 「考える力」を伸長させるために言語活動を充実させること

- ・児童が自分の考えを確かにつくりあげたり、互いの考えを効果的に伝え合ったりするための媒体は、言語である。そこで、考える活動を充実させるための言語活動の在り方を明らかにし、意図的、継続的な指導を行っていきたい。

(4) 研究内容を継続的に実践していくこと

- ・これまでも、研究内容を日々の授業で日常的に実践することを重視し、省察を重ねることで研究のねらいと児童の実態に応じた手立てを見出してきた。今後も、日々の授業＝授業改善であることを忘れずに、研究内容の継続的実践に努めたい。

3 おわりに

研究主任 内藤 麗子

升形小学校では、平成19年度から3年間、「考える力」を育てる授業の改善をテーマとし、研究に取り組んできました。日々営まれる授業が、子どもたちにとっていかに貴重な時間であるかを心に留め、その質を高めるために尽力することは、教師として忘れてはならない姿勢だと考えます。

実際の授業づくりにあたっては、研究内容の具現化を図ることに留意するとともに、児童の意識の流れを踏まえた授業展開になっているかということについても、十分に検討を重ねてきました。本時のねらいを達成した時に児童は何をつぶやくのか、そこに至るまでに疑問に思うことや、つまづくことは何か・・・等、児童の意識の流れを想定することは、本校の授業づくりの大切な要素となっています。

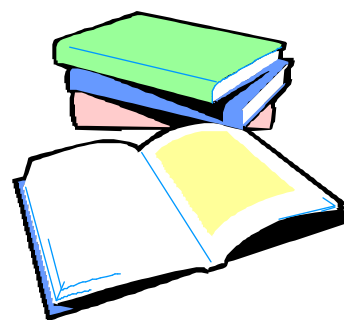
3年間の研究を通してつくづく感じることは、教師が同僚性を高め、真摯に授業づくりに取り組むことで、子どもたちの学ぶ姿が変わるということです。子どもたちは、授業づくりの場を見ているわけではありません。しかし、教師がその授業のために費やした時間や、その授業にかかる熱意は、きっと、子どもたちに伝わっているのです。そして、教師と児童が本時の価値を共有し、如何に考えればよりよく課題を解決できるのかということと共に追究していくような授業を展開することができるのでしょう。

充実した学びを経て課題を解決することができた時、児童は心底からの達成感を味わうに違いありません。また、充実した授業を積み重ねていくことを通して、教師と児童の絆が深まり、それがまた次の豊かな学びにつながっていくことも、本研究を通して実感しています。このことを心に深く刻みながら、さらなる授業改善に向けて、今後も歩み続けていきたいと思えます。

末筆になりましたが、本研究を推進するにあたり、常に適切な御指導・御助言を賜りました群馬県教育委員会、利根教育事務所、沼田市教育委員会の先生方をはじめ、関係各位の皆様方に衷心より感謝申し上げます。

主な参考文献

- ・ 小学校学習指導要領（総則編、算数編、生活編、総合的な学習の時間編） 文部科学省
- ・ 香川大学教育学部附属坂出小学校 「思考力を育てる授業づくり」 日本標準
- ・ 赤井利行、荒田優子 「校内研修の進め方」 東洋館
- ・ 村川雅弘 「ワークショップ型研修のすすめ」 ぎょうせい
- ・ 藤井博敏 「数学的な考え方を育てる算数科授業の新展開」 明治図書
- ・ 田中博史 「算数的表現力を育てる授業」 東洋館
- ・ 矢部敏昭、杉谷一司、敦賀市立中央小学校 「授業の質を高める新しい算数の学習」 明治図書
- ・ 宮本立雄 「新学習指導要領を生かした生活科と総合の授業づくり」 小学館
- ・ 朝倉 淳 「子どもの気づきを拡大・深化させる生活科の授業原理」 風間書房
- ・ 寺本潔、西尾市立西尾小学校 「総合学習・町づくり大作戦」 明治図書
- ・ 村川雅弘 「教科と総合の関連で真の学力を育む」 ぎょうせい
- ・ 天笠 茂 「ポートフォリオを生かした新しい教育実践と評価
～総合的な学習の時間で育つ子どもの生きる力～」 東洋館
- ・ 藤岡市立美土里小学校 平成19年度研究紀要
- ・ 下仁田町立下仁田小学校 平成19年度研究紀要
- ・ 太田市立宝泉小学校 平成19年度研究報告書



研究に携わった教職員

〈平成 21 年度〉

校 長	馬場 静子
教 頭	塩原 秀俊
算数科部会	林 祐二 (部会長) 内藤 麗子 (研究主任) 小尾 浩三 潮見 厚子 後藤 高行 平田 加代 (9/9 ~ 10/6)
生活科部会	岡村 美保 (部会長) 見城 由香 小林 美香 岡田 恵子 生方小百合
総合的な学習の時間部会	藤井 洋子 (部会長) 小林真由美 大関 一久 丸山みのり 倉澤 泰子
事務主事	吉野 敦幸

〈平成 20 年度〉

小林 章 井上 初枝 田島 晃代 斉藤雄一郎 荒井 章子 竹之内千穂

〈平成 19 年度〉

金井 庫治 (教頭) 町田 和弘 深津 美帆 植木 毅 林 礼子 都丸 慶子 戸神亜季子 鈴木 富子
